

# 東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

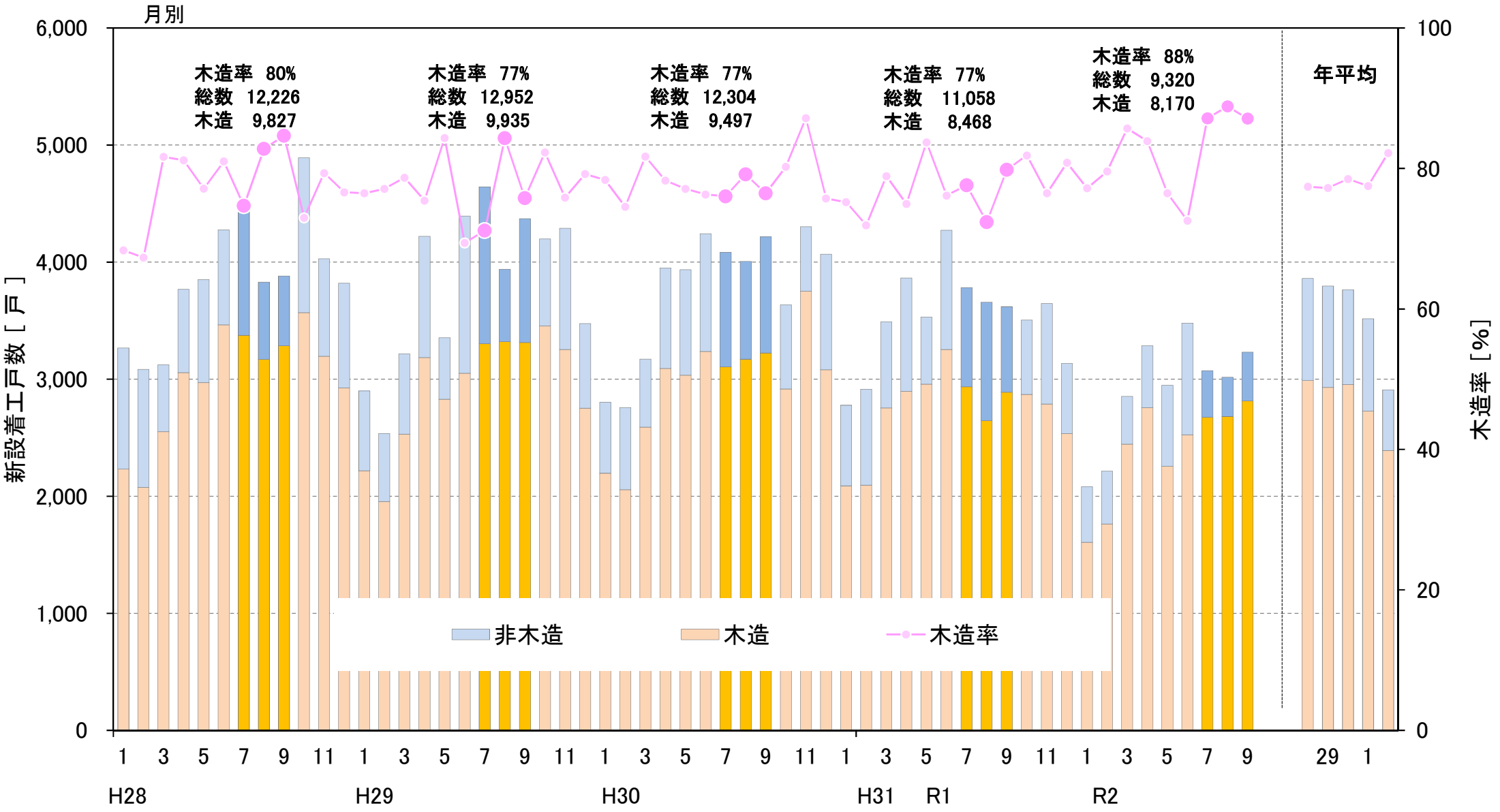
令和2年12月10日(木)

東北森林管理局



# ■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年9月)

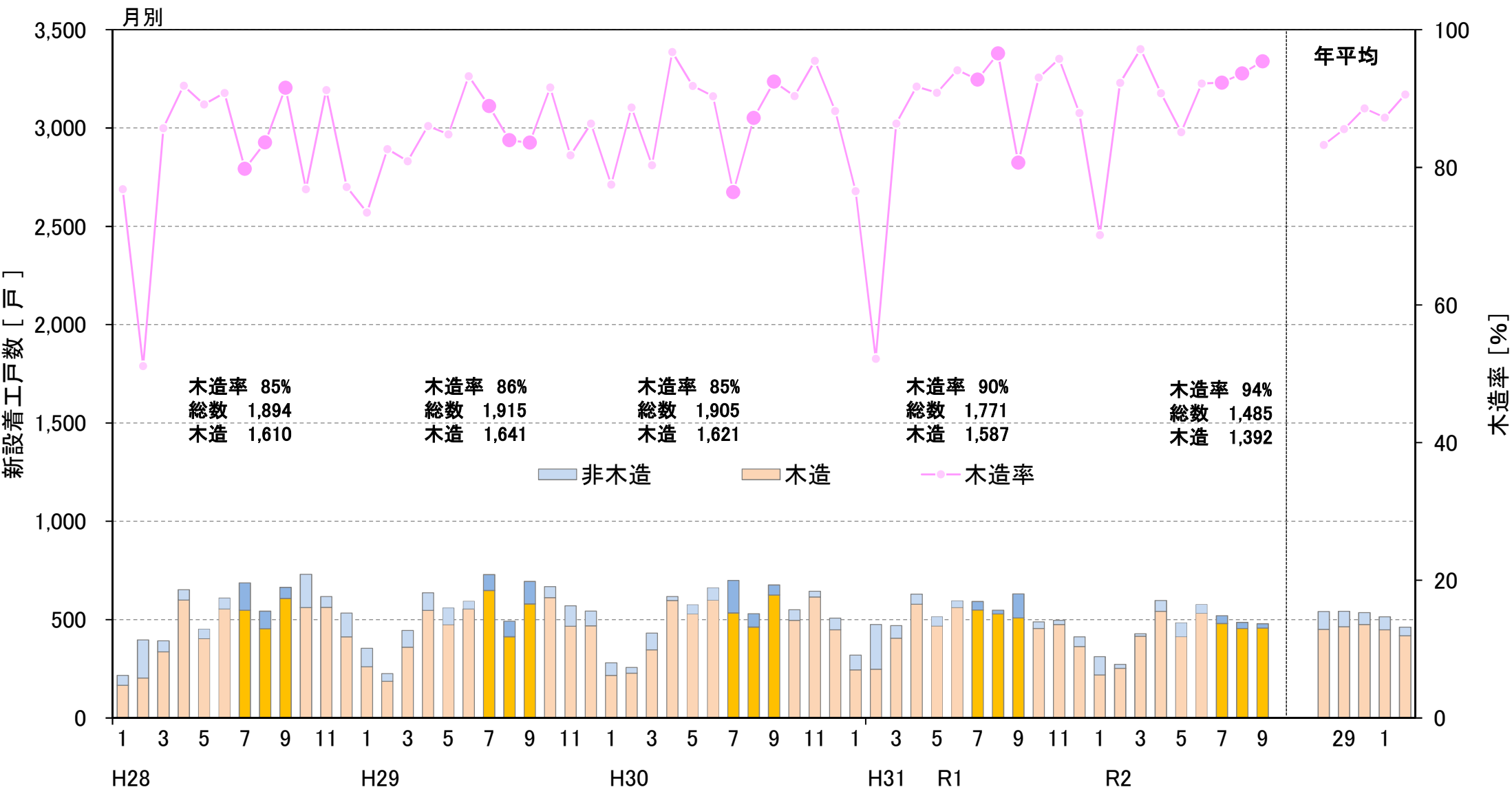
○ 東北5県の令和2年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より1,738戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より298戸減少し、木造率は11%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 青森県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年9月)

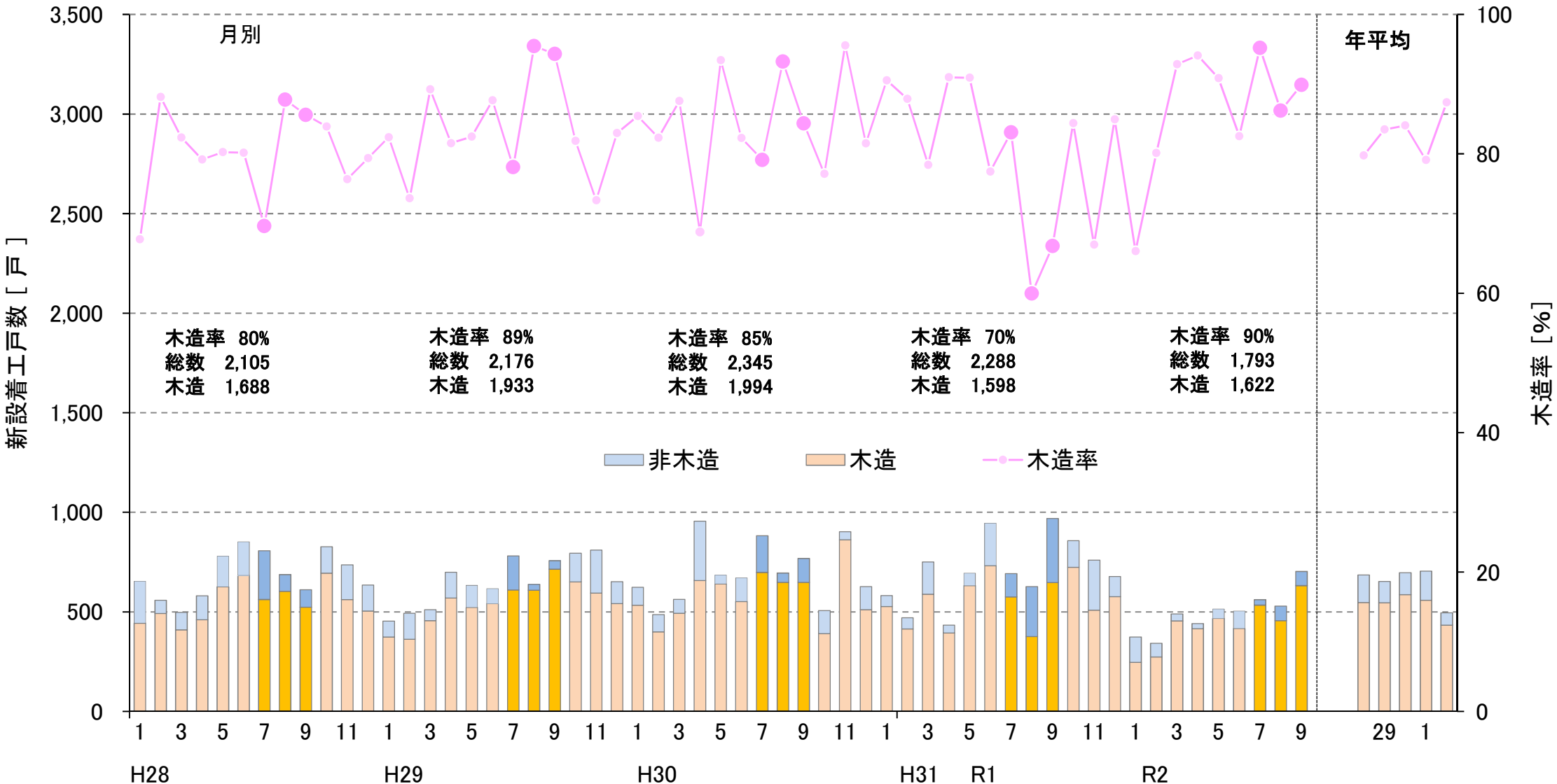
○ 青森県の令和2年7～9月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より286戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より195戸減少し、木造率は4%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年9月)

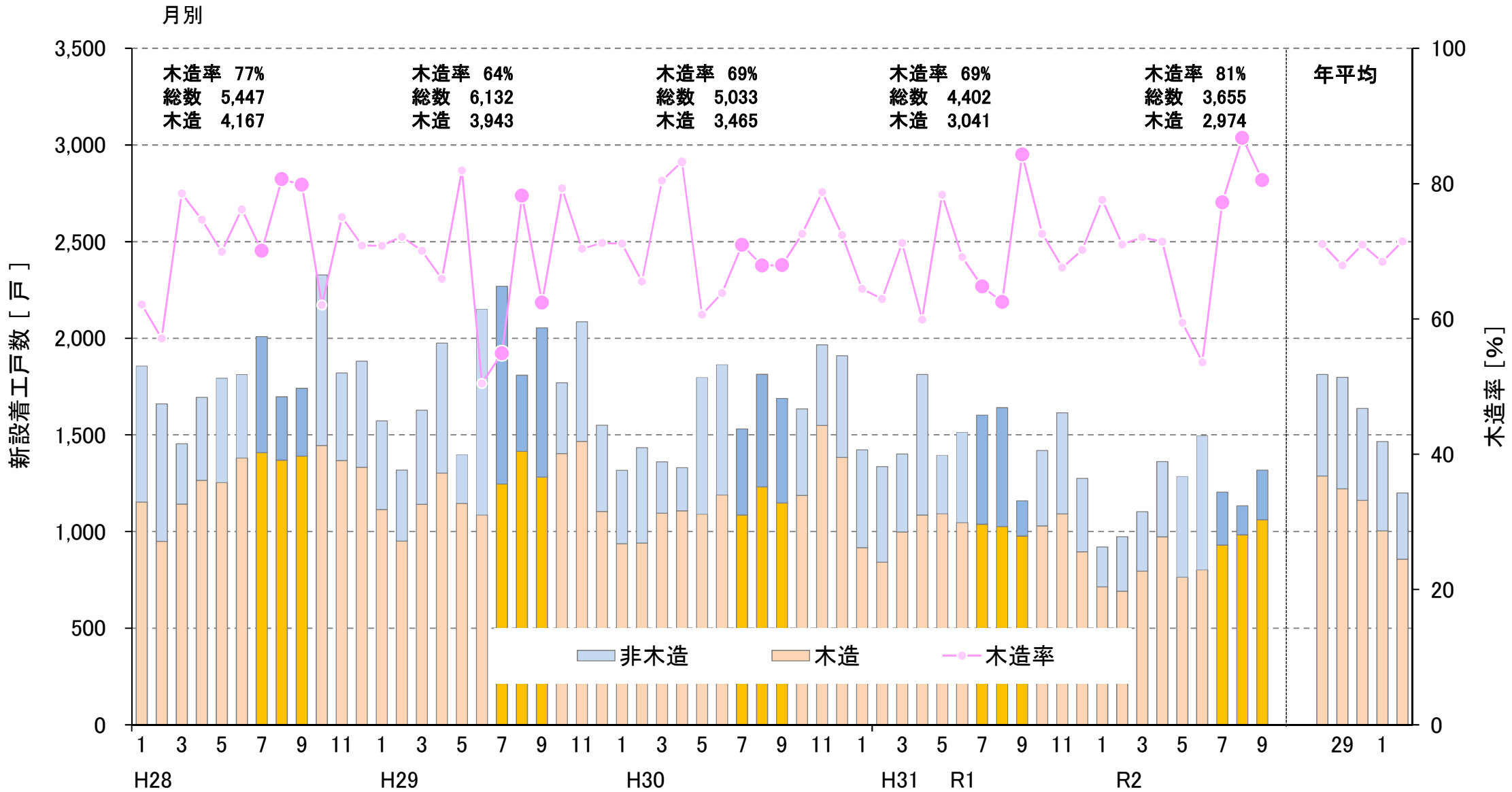
○ 岩手県の令和2年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より495戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より24戸増加し、木造率は20%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 宮城県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年9月)

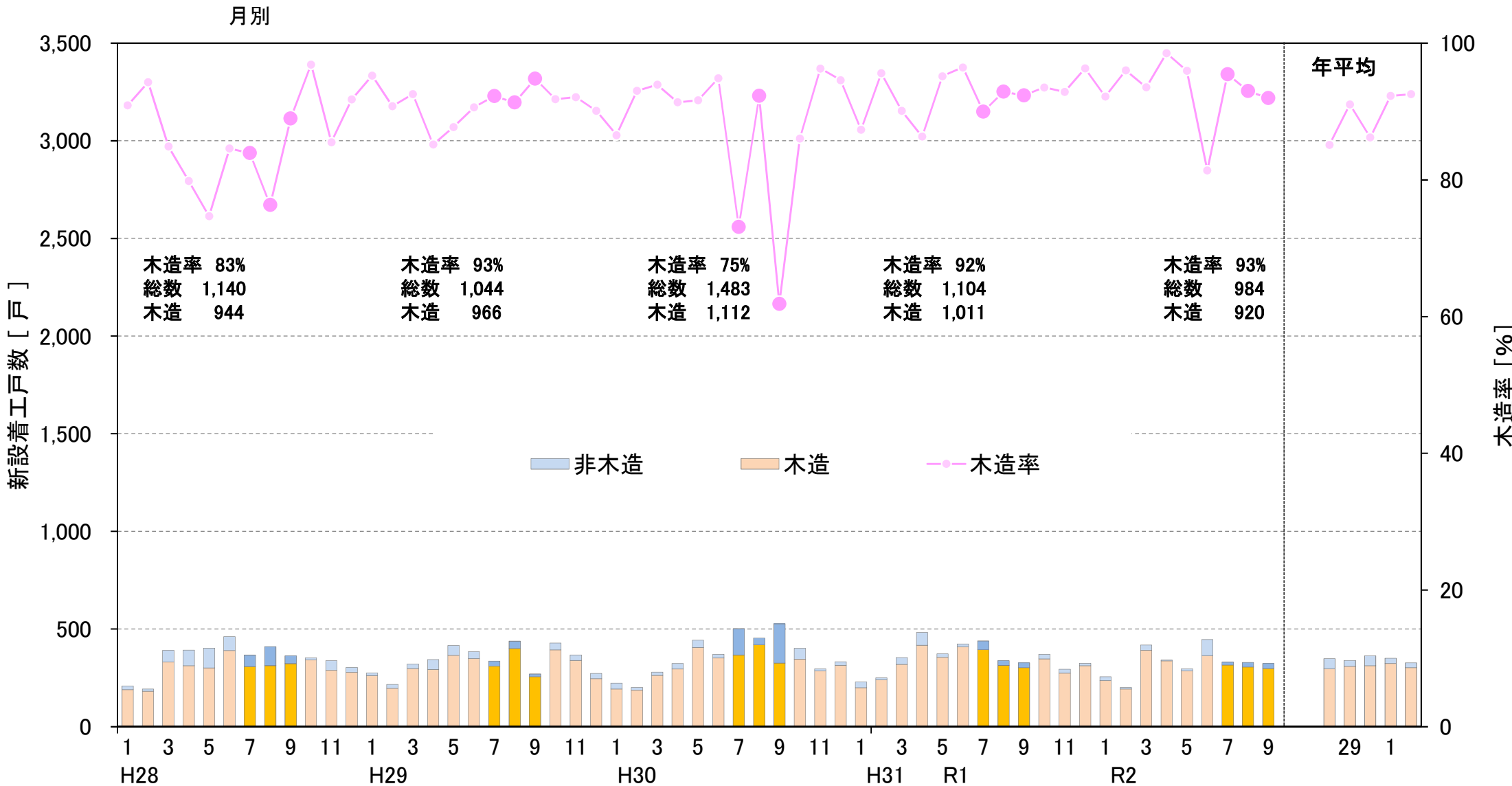
○ 宮城県の令和2年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より747戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より67戸減少し、木造率は12%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年9月)

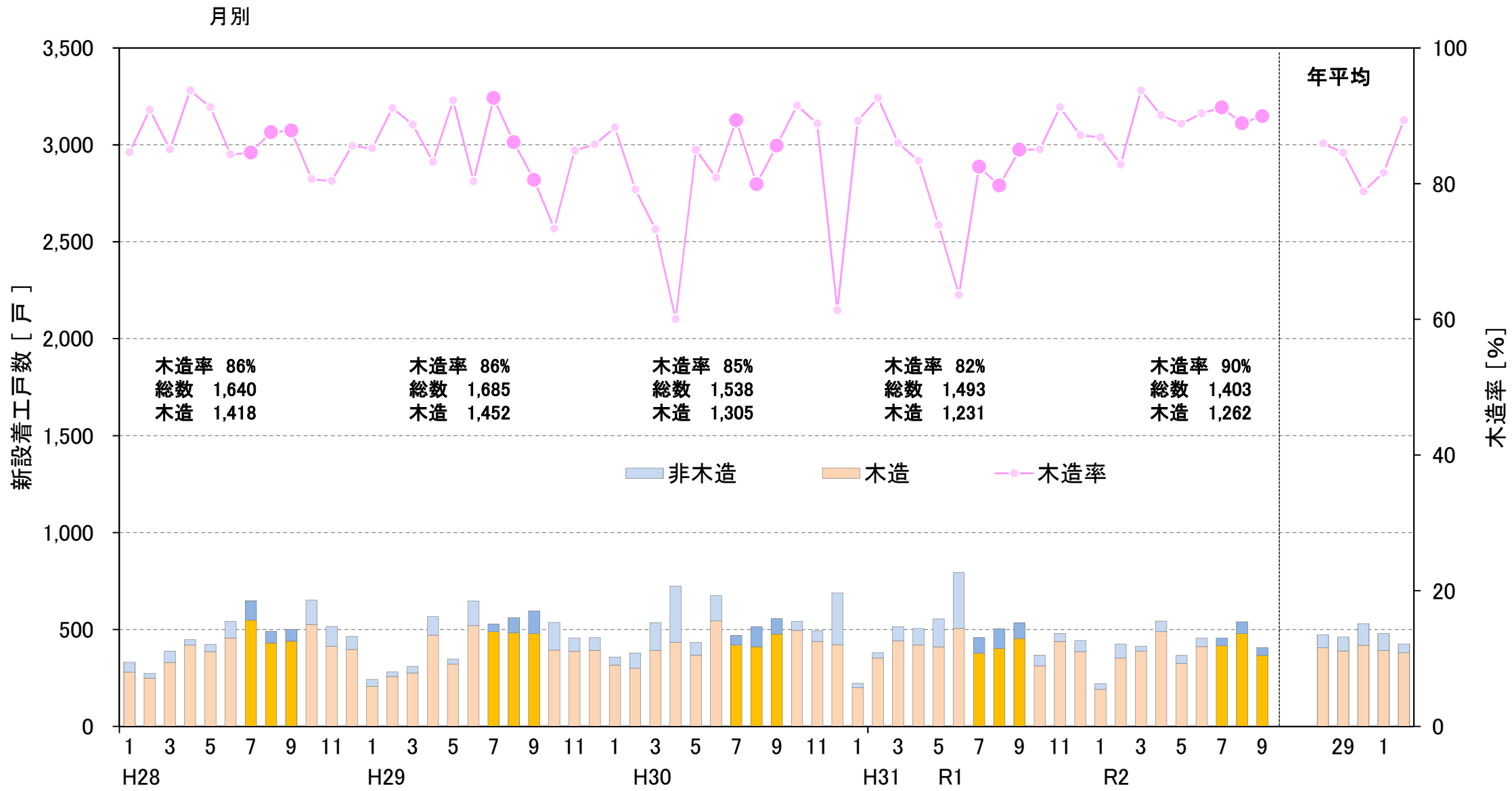
○ 秋田県の令和2年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より120戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より91戸減少し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# 山形県の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年9月)

○ 山形県の令和2年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より90戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より31戸増加し、木造率は8%増加した。



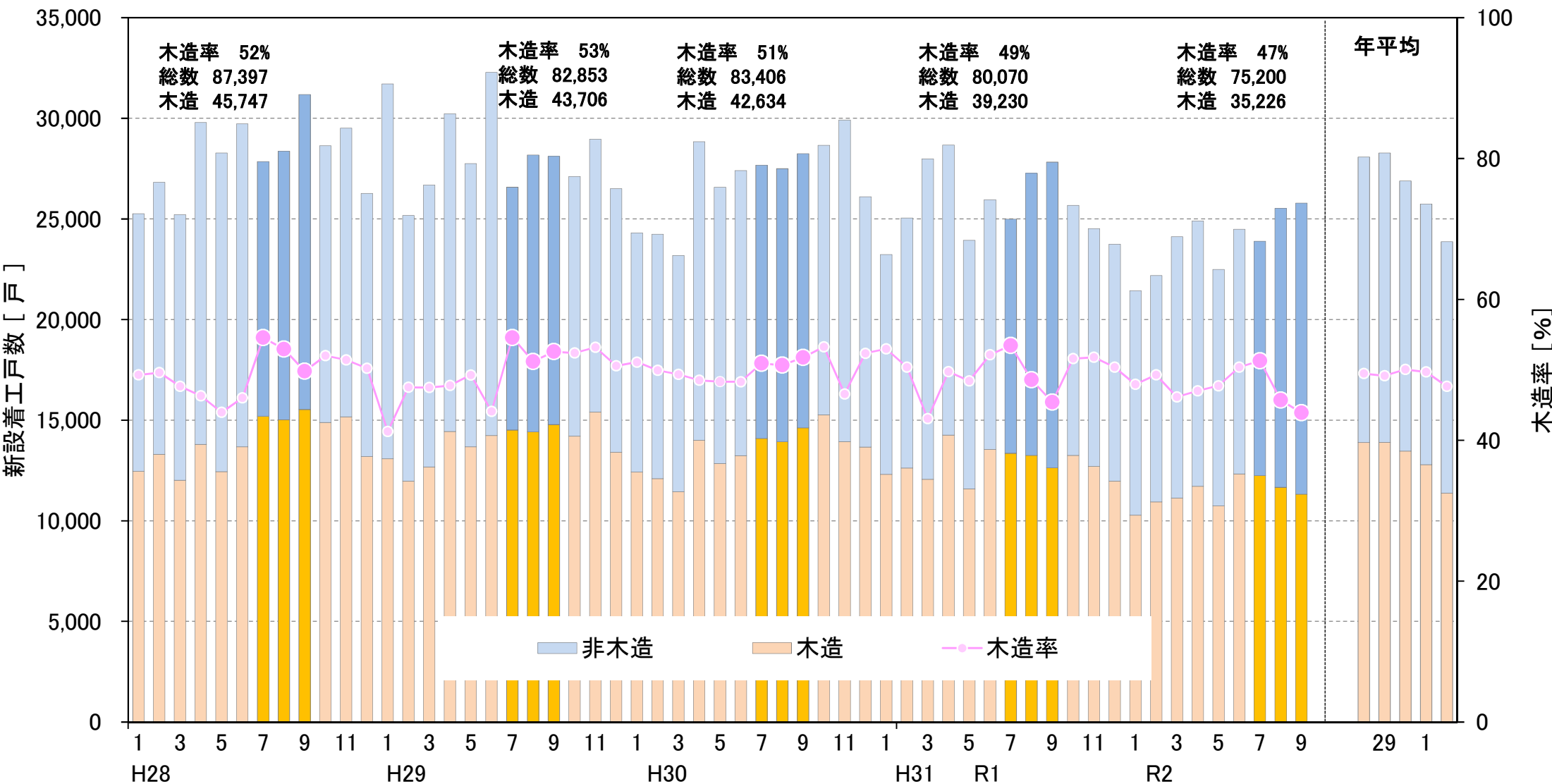
出典：国土交通省「住宅着工統計」



# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移(平成28年1月～令和2年9月)

○ 関東主要都市の令和2年7～9月期の新設住宅着工数は、昨年同期より4,870戸減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より4,004戸減少し、木造率は2%減少した。

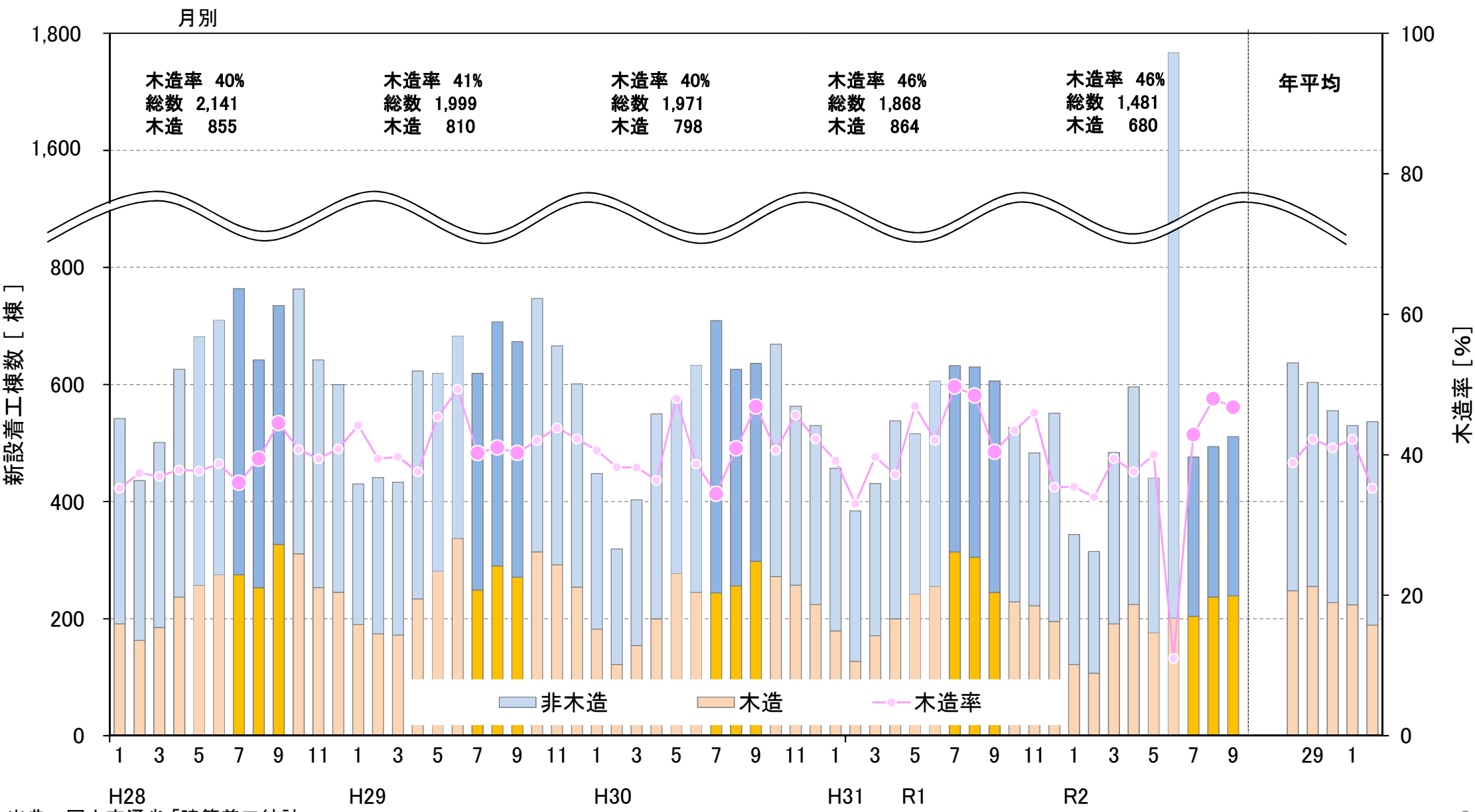
月別



出典：国土交通省「住宅着工統計」

# ■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年9月)

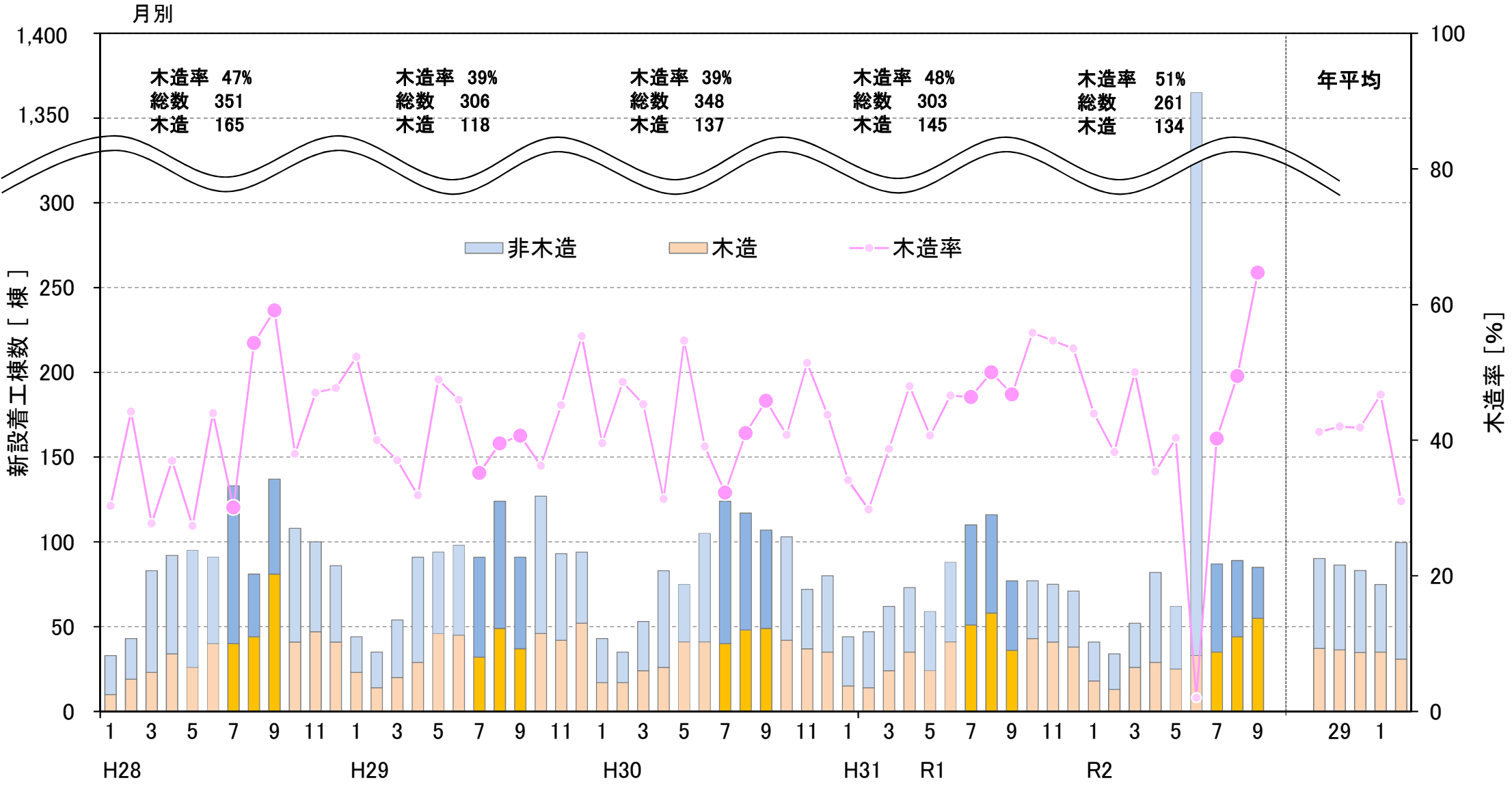
○ 東北5県の令和2年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より387棟減少した。  
この期間の木造は昨年同期より184棟減少し、木造率には変化はなかった。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# 青森県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年9月)

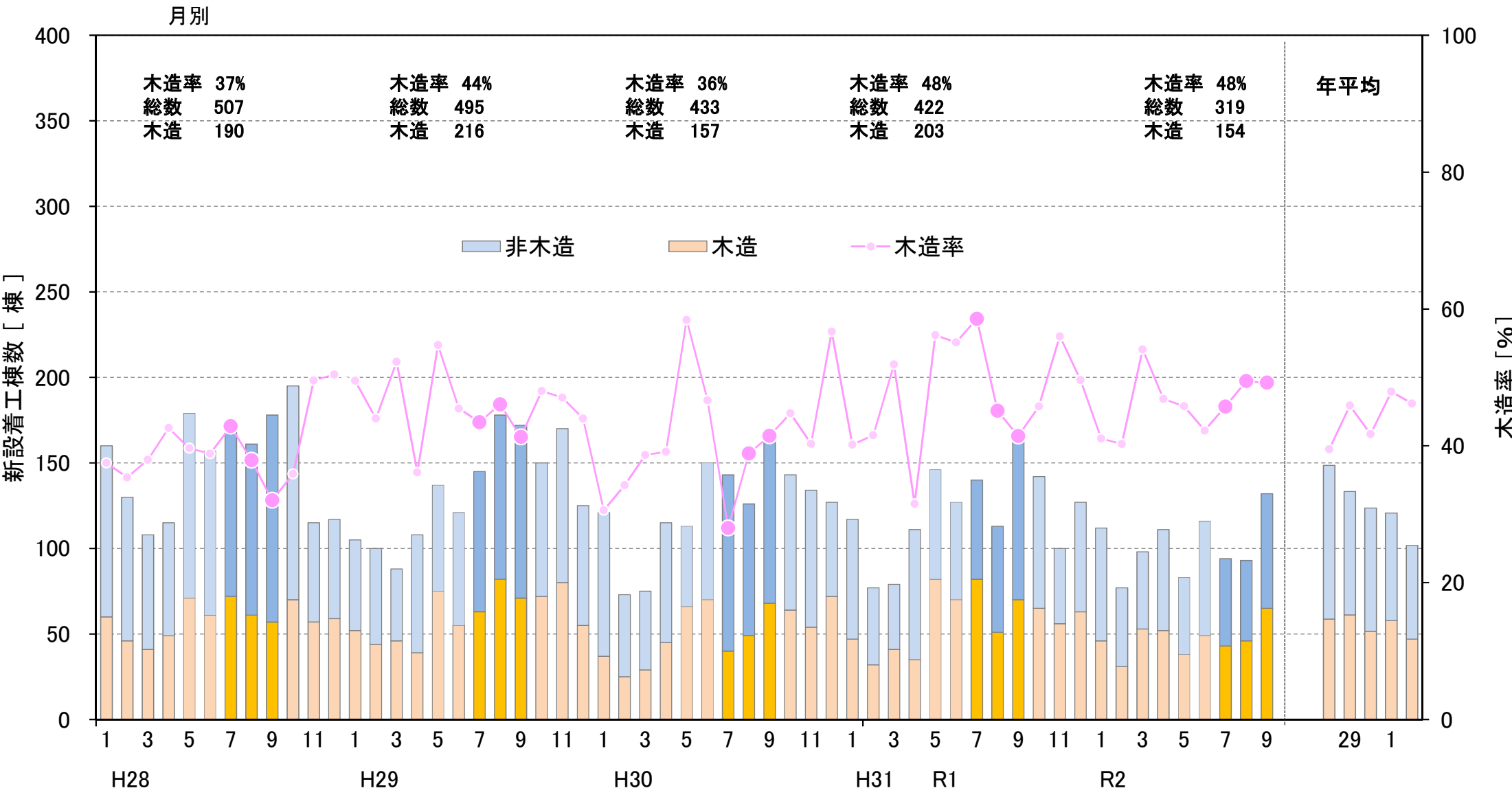
○ 青森県の令和2年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より42棟減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より11棟減少し、木造率は3%増加した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# ■ 岩手県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年9月)

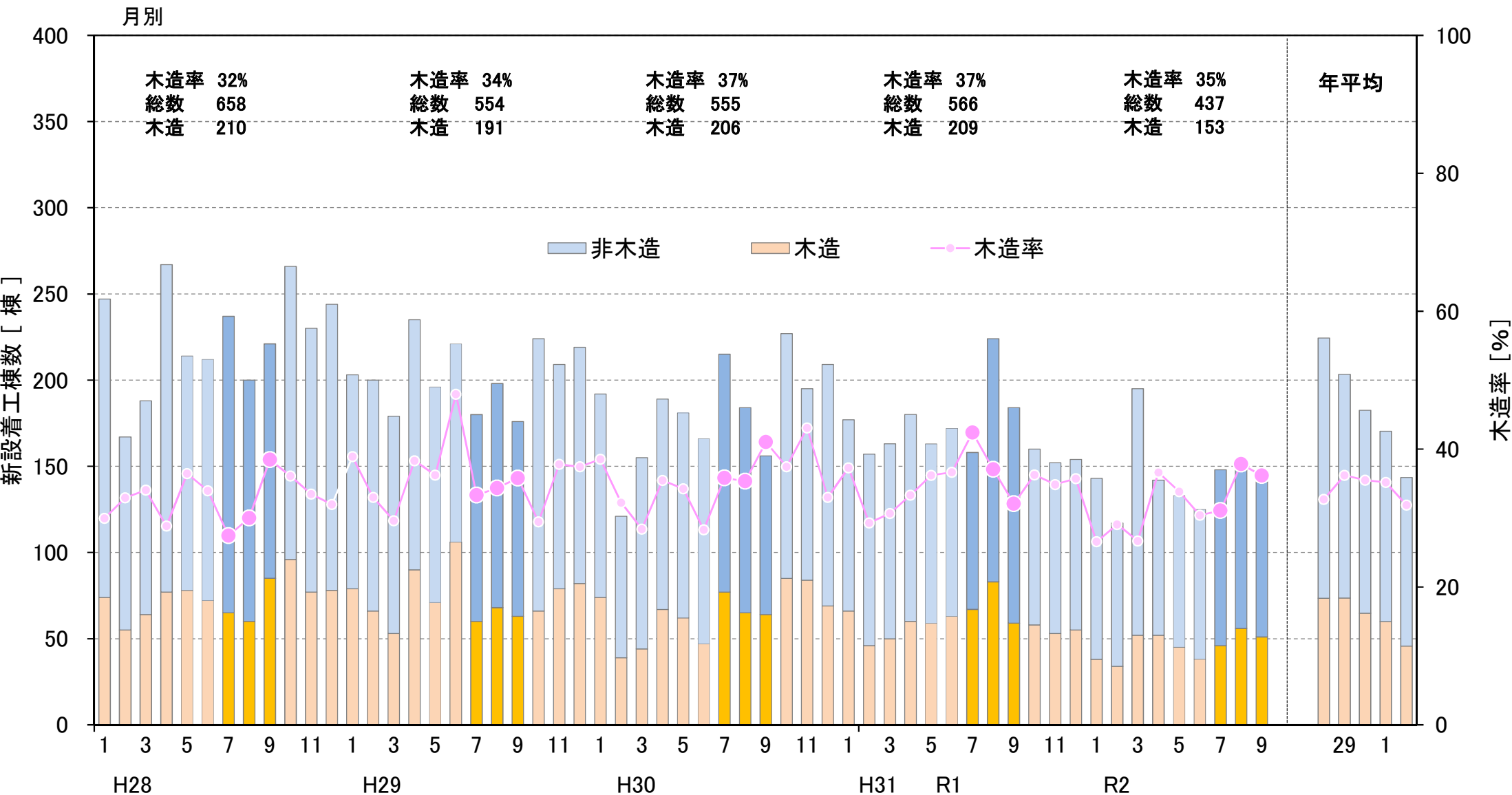
○ 岩手県の令和2年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より103棟減少した。この期間の木造は昨年同期より49棟減少し、木造率には変化はなかった。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# 宮城県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年9月)

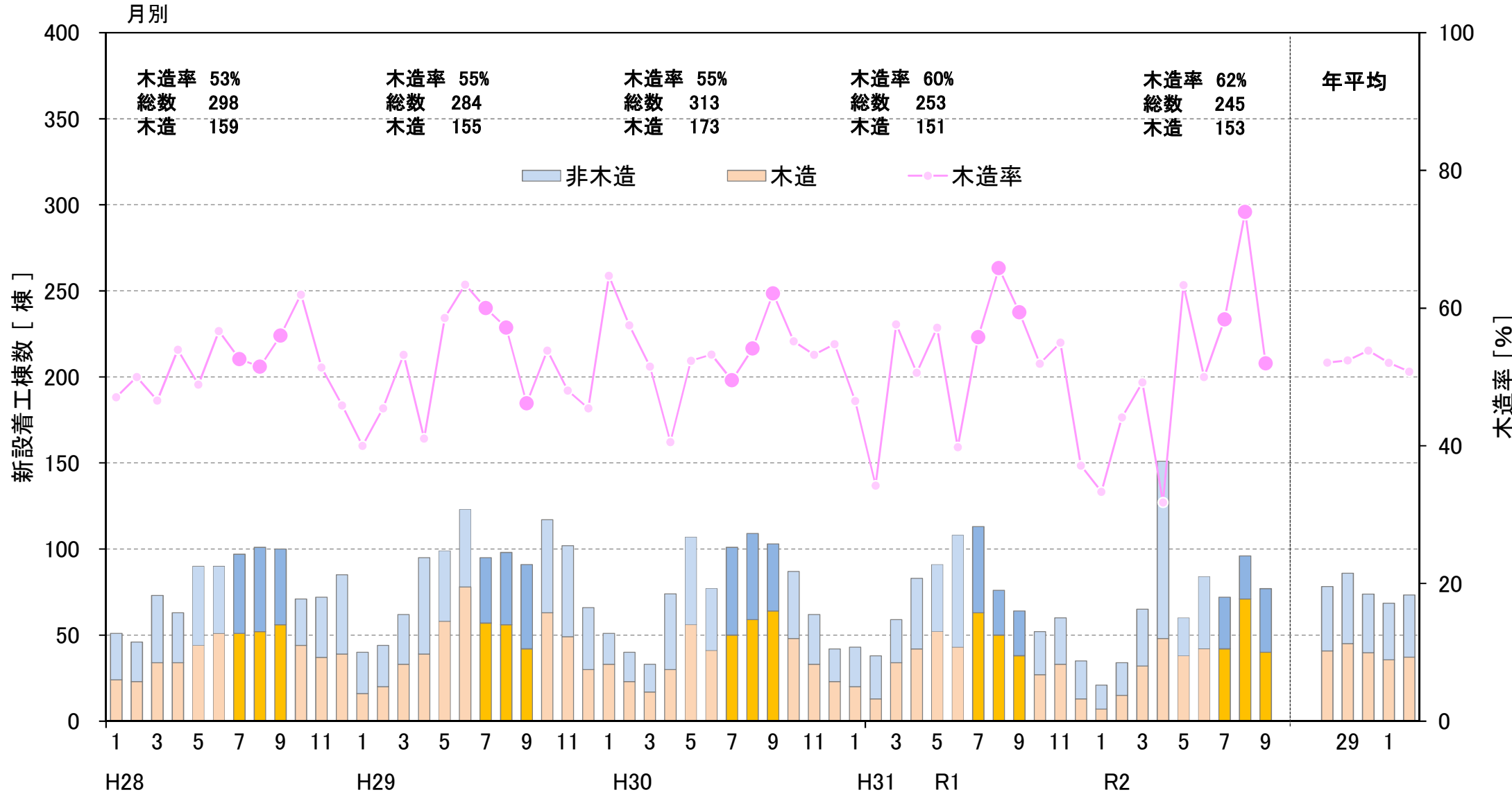
○ 宮城県の令和2年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より129棟減少した。この期間の木造は昨年同期より56棟減少し、木造率は2%減少した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# 秋田県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年9月)

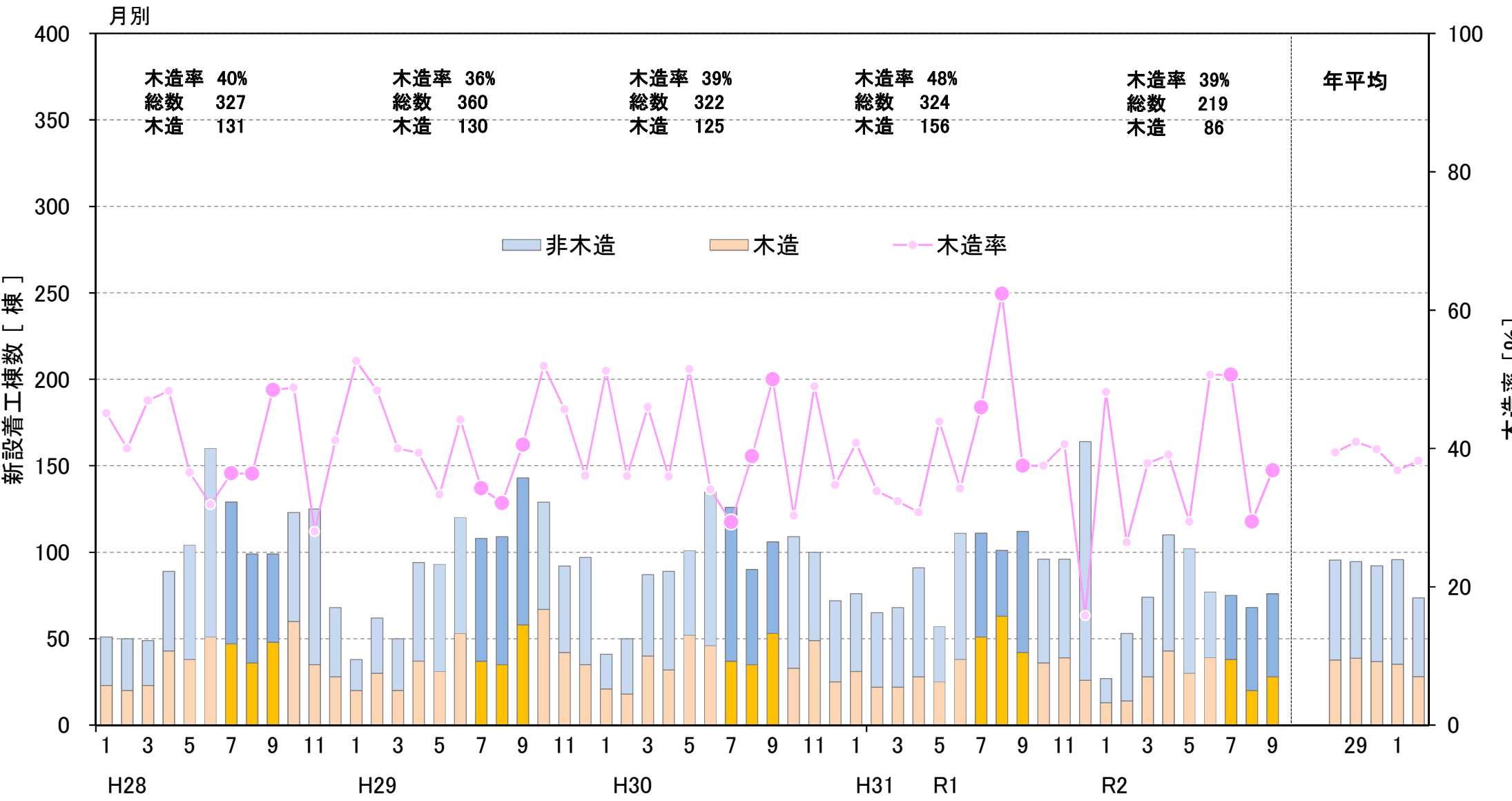
○ 秋田県の令和2年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より8棟減少した。この期間の木造は昨年同期より2棟増加し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# 山形県の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年9月)

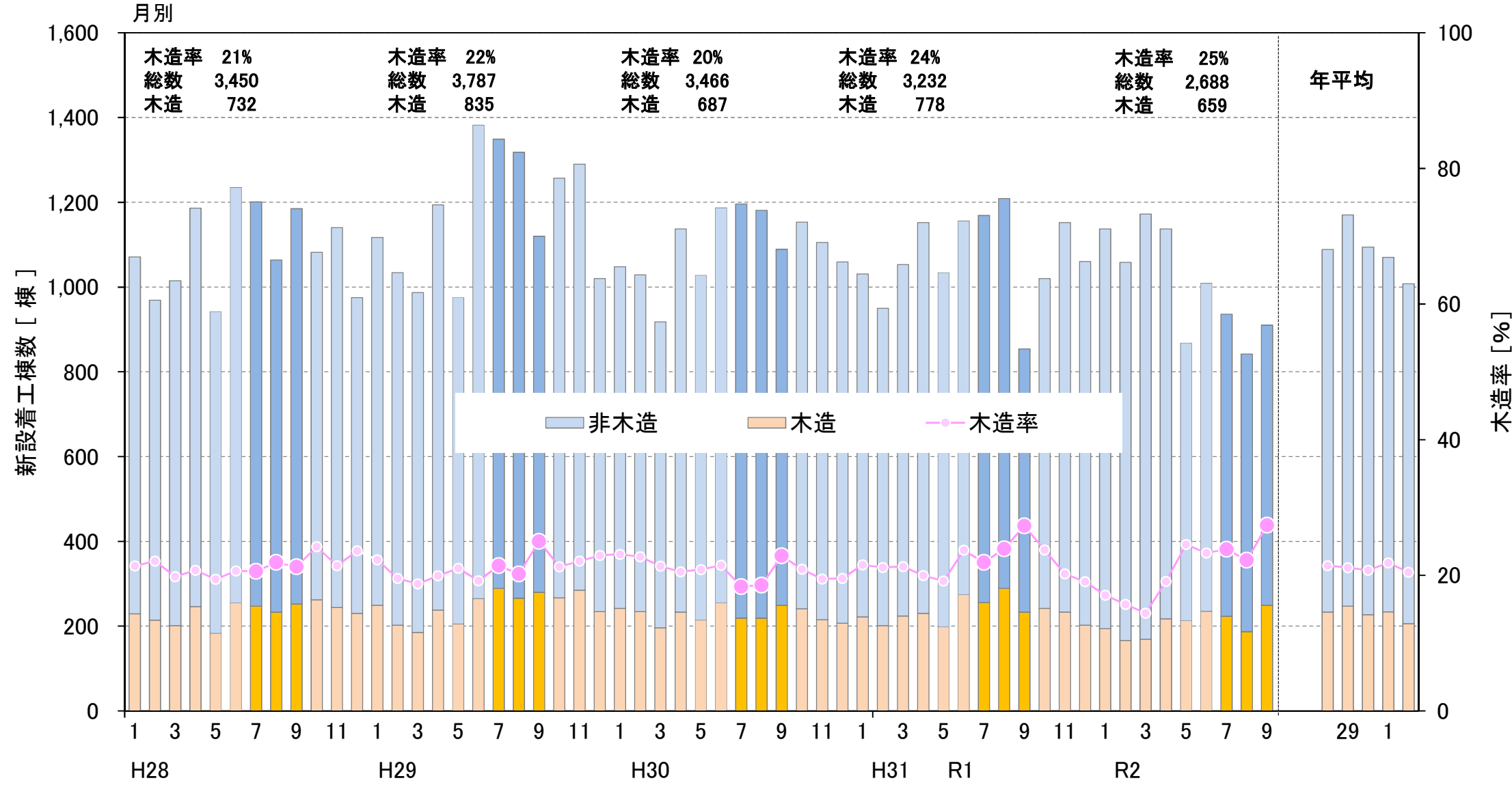
○ 山形県の令和2年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より105棟減少した。  
 この期間の木造は昨年同期より70棟減少し、木造率は9%減少した。



出典：国土交通省「建築着工統計」

# ■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工棟数の推移 (平成28年1月～令和2年9月)

○ 関東主要都市の令和2年7～9月期の新設産業用建築物着工棟数は、昨年同期より544棟減少した。この期間の木造は昨年同期より119棟減少し、木造率は1%増加した。

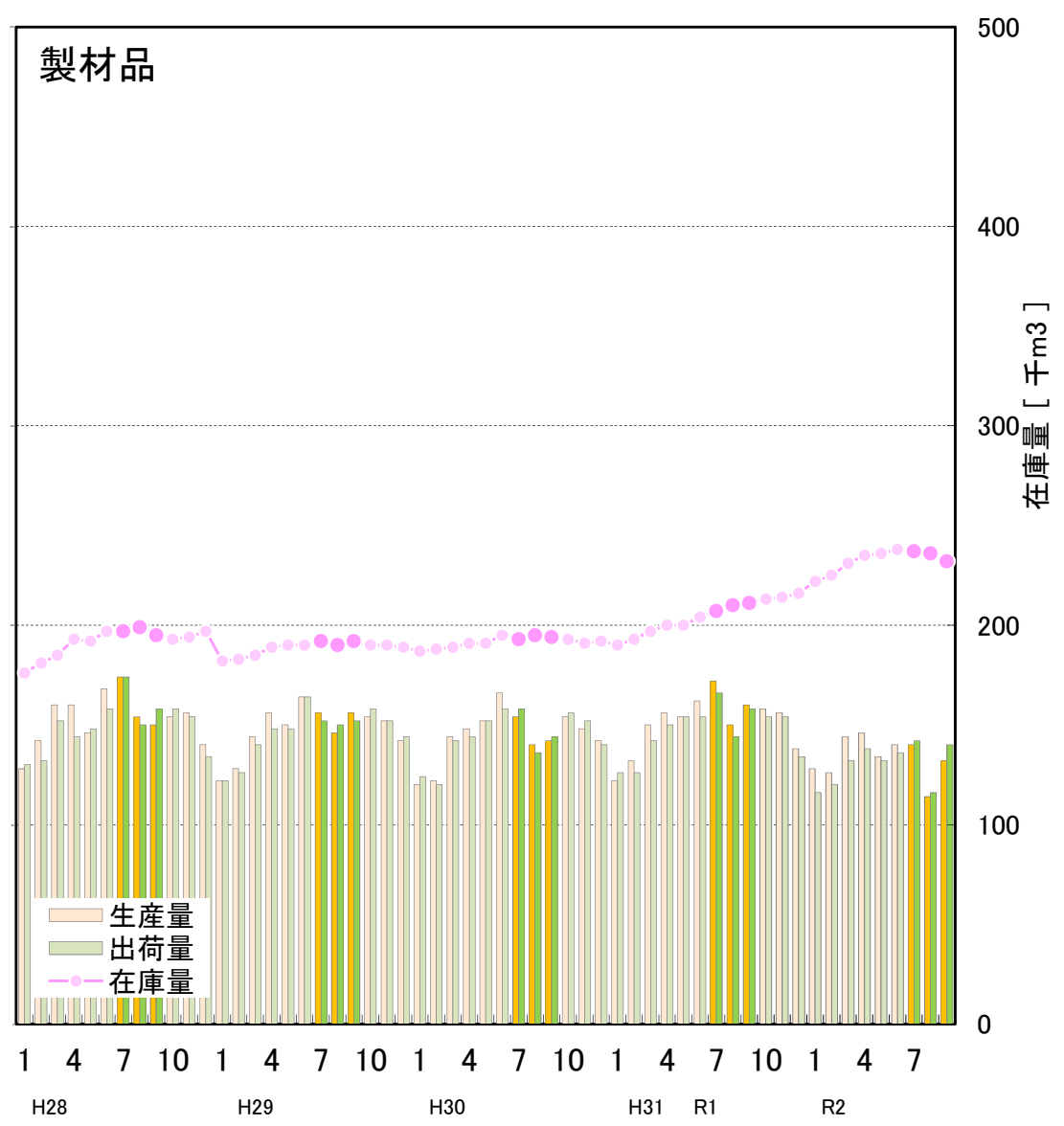
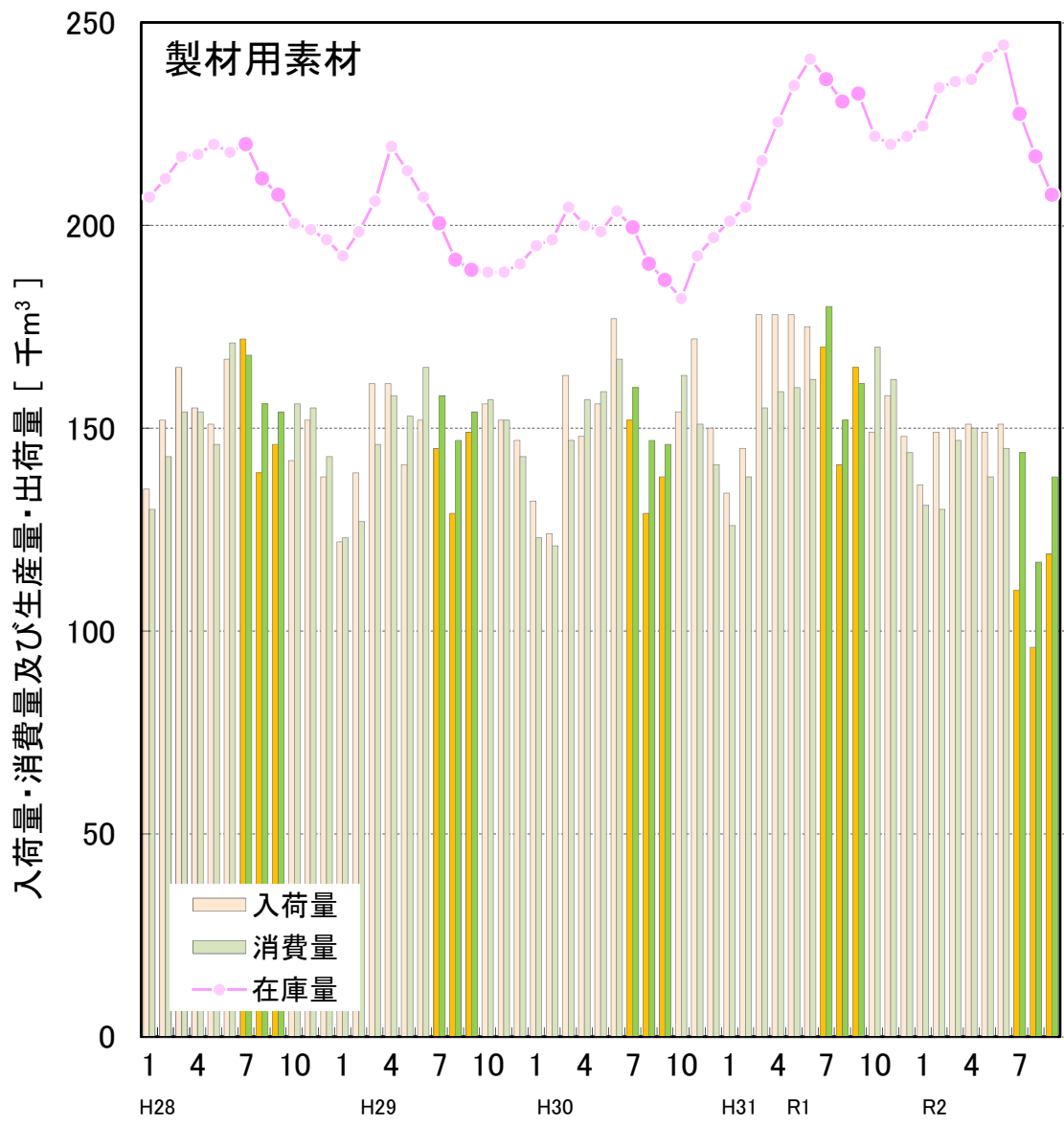


出典：国土交通省「建築着工統計」



# ■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年9月)

○ 製材用素材の令和2年7～9月の入荷量は昨年同期比-32%、消費量は-19%、在庫量は9月比-11%。  
 ○ 製材品の令和2年度7～9月の生産量は昨年同期比-20%、出荷量は-15%、在庫量は9月比+10%。

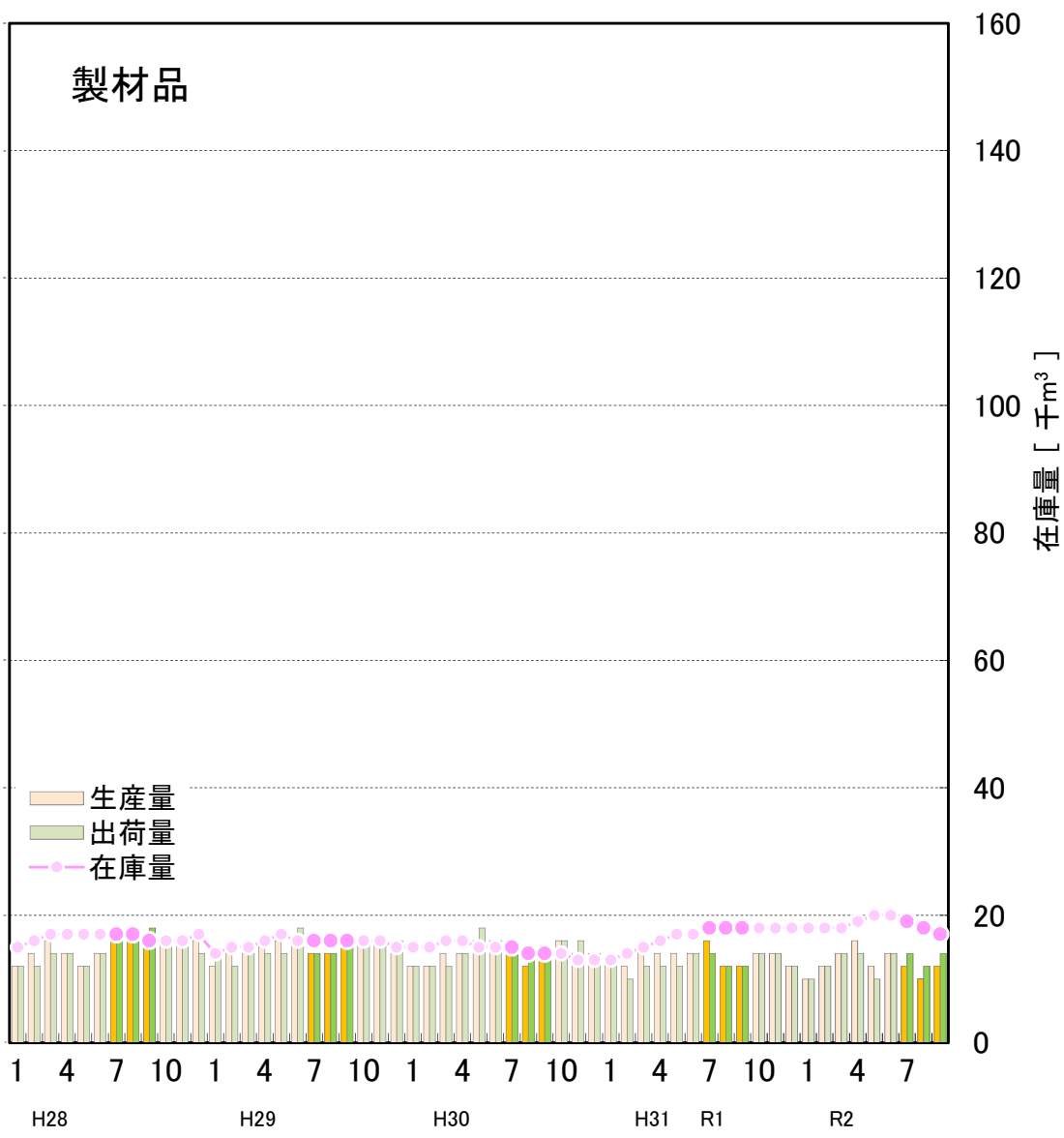
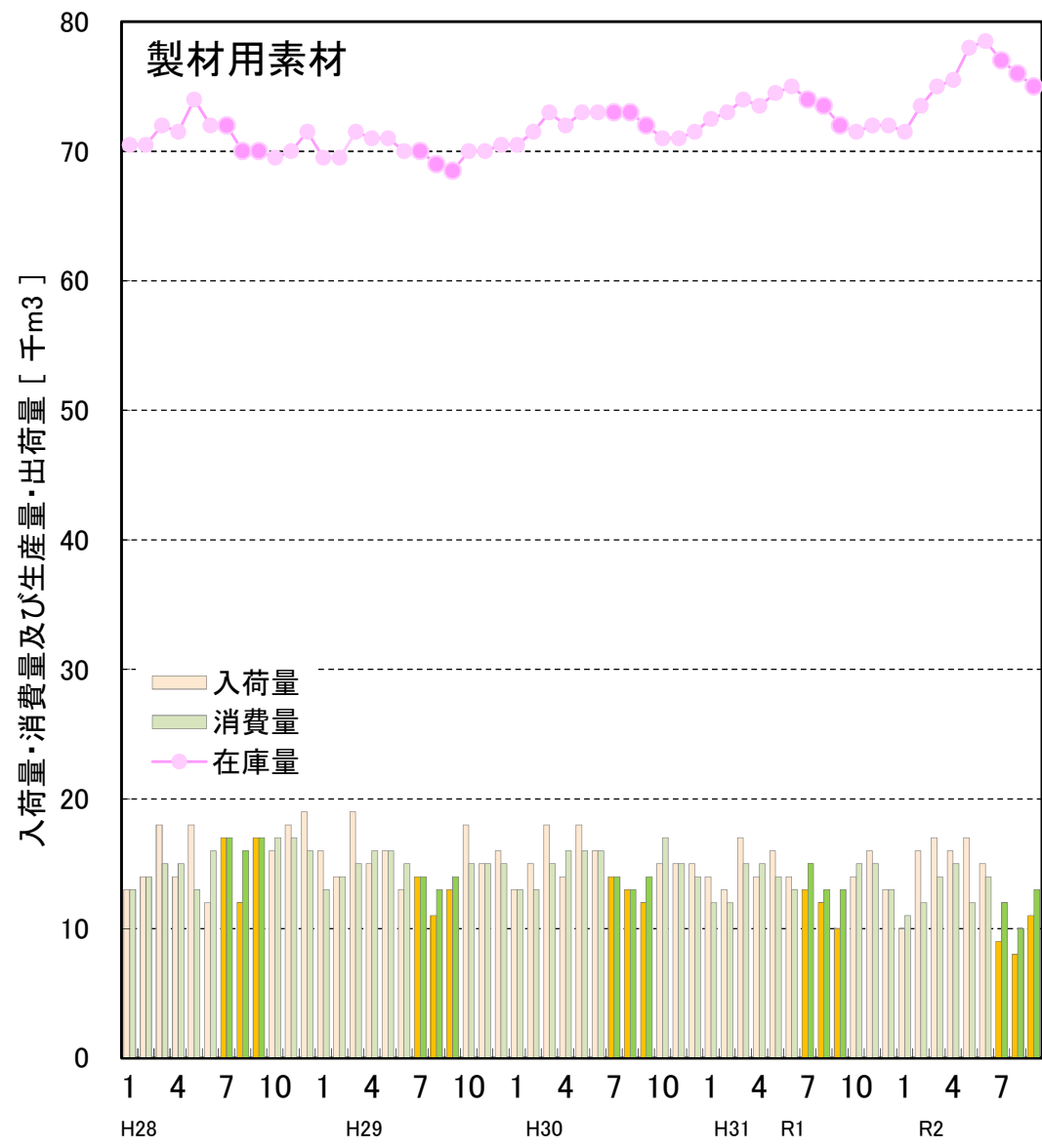


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# ■ 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年9月)

- 製材用素材の令和2年7～9月の入荷量は昨年同期比-20%、消費量は-15%、在庫量は9月比+4%。
- 製材品の令和2年度7～9月の生産量は昨年同期比-15%、出荷量は+5%、在庫量は9月比-6%。

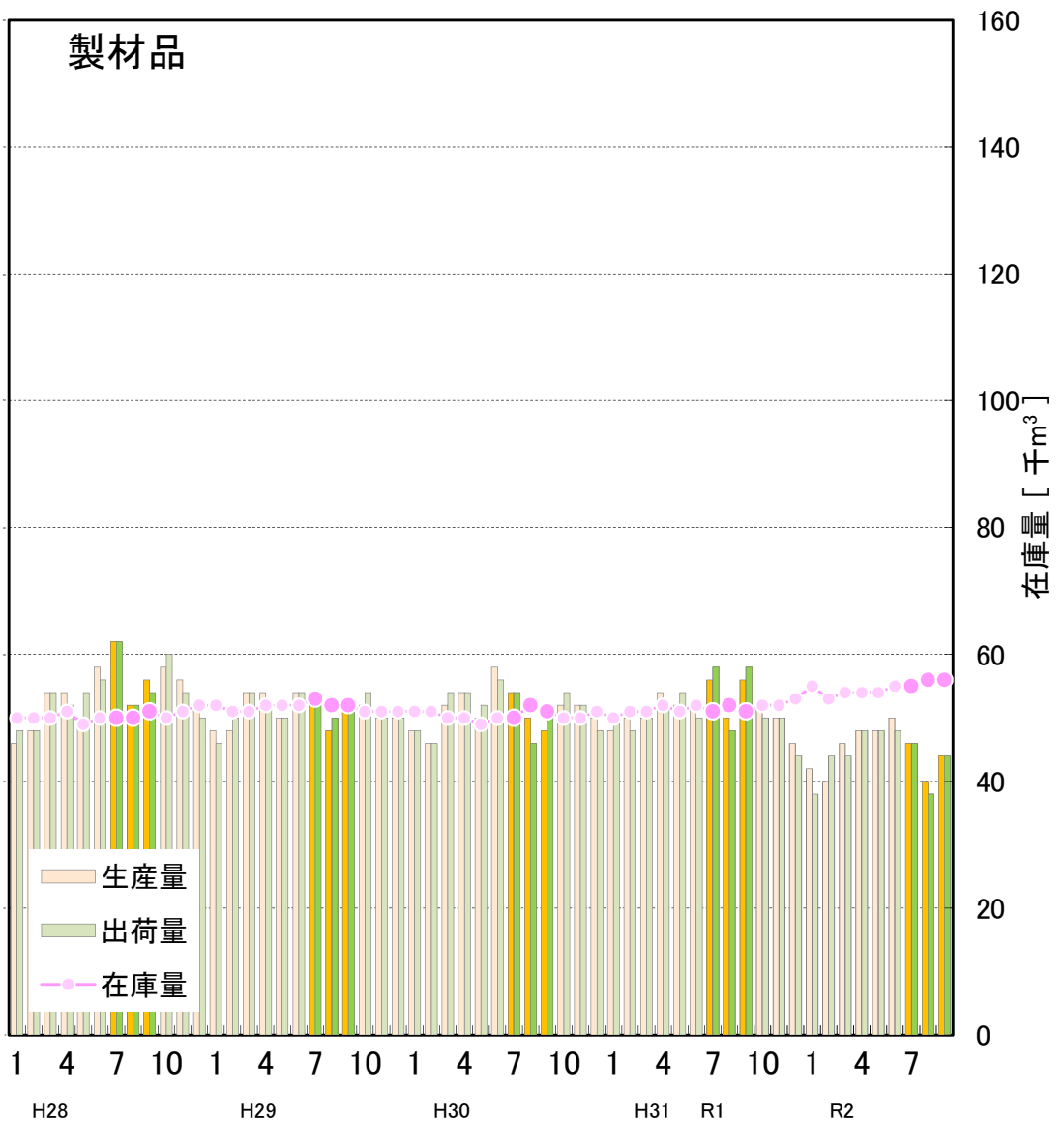
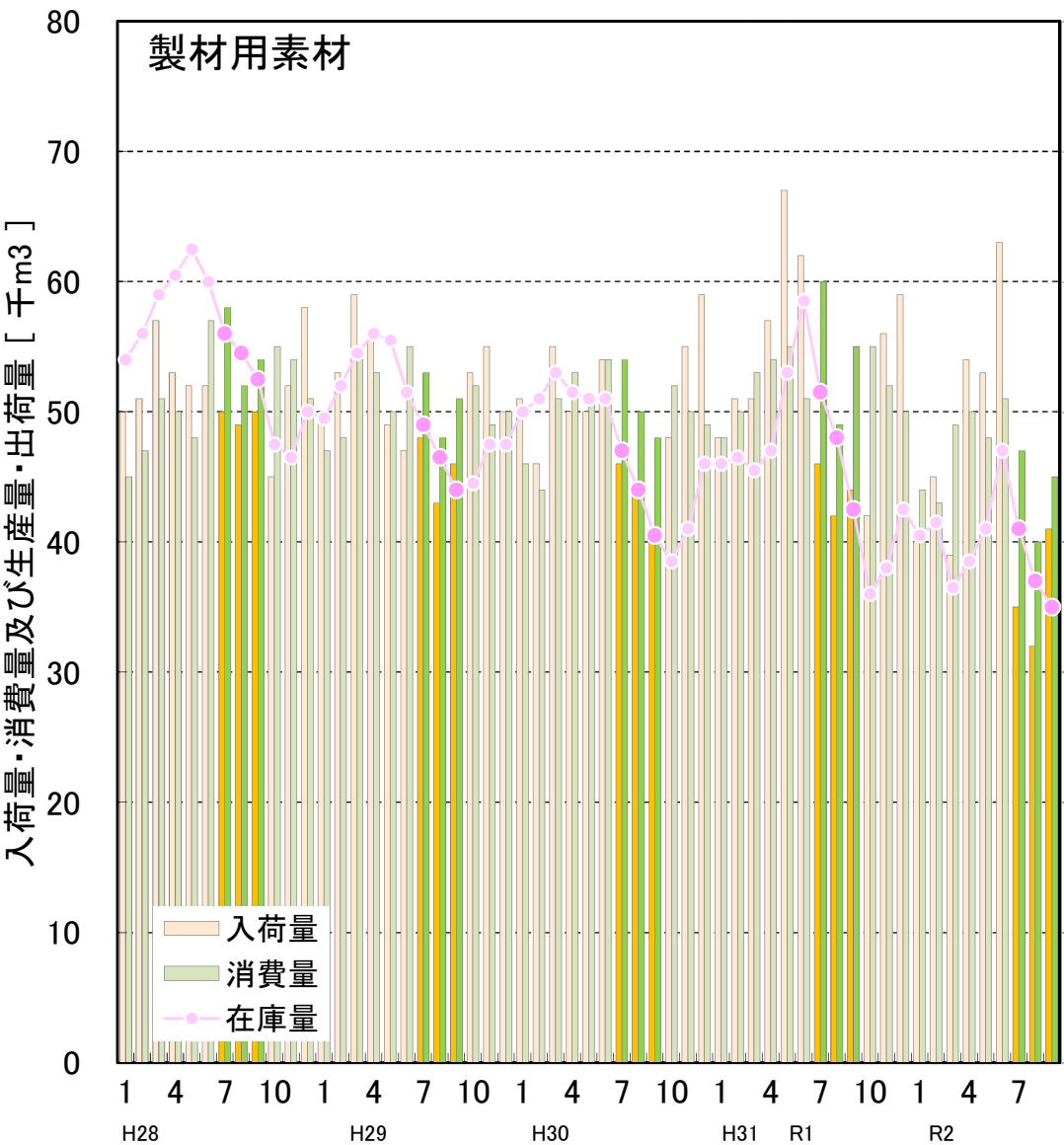


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。 16

# ■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年9月)

○ 製材用素材の令和2年7～9月の入荷量は昨年同期比－18%、消費量は－20%、在庫量は9月比－18%。  
 ○ 製材品の令和2年度7～9月の生産量は昨年同期比－20%、出荷量は－22%、在庫量は9月比＋10%。

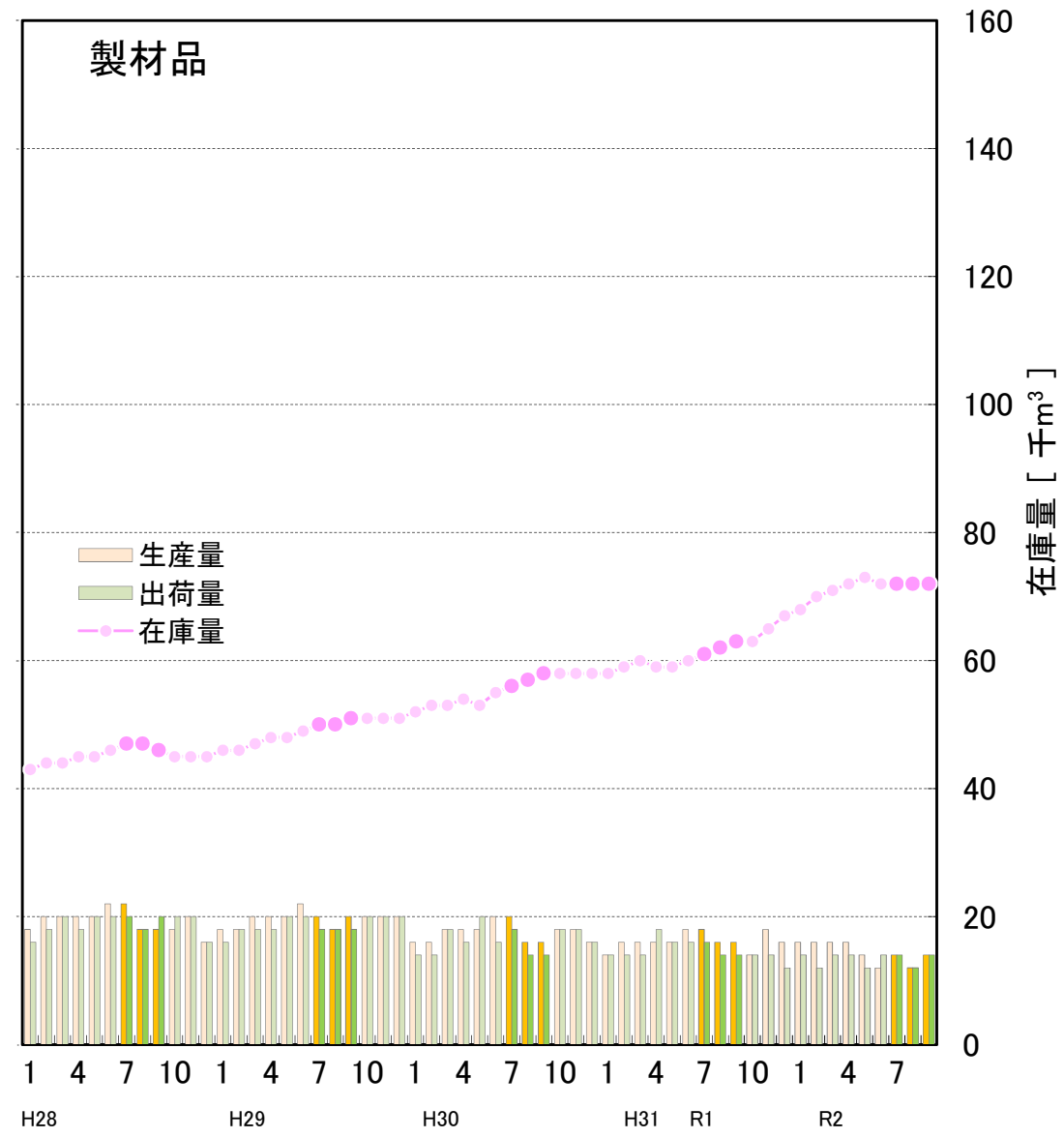
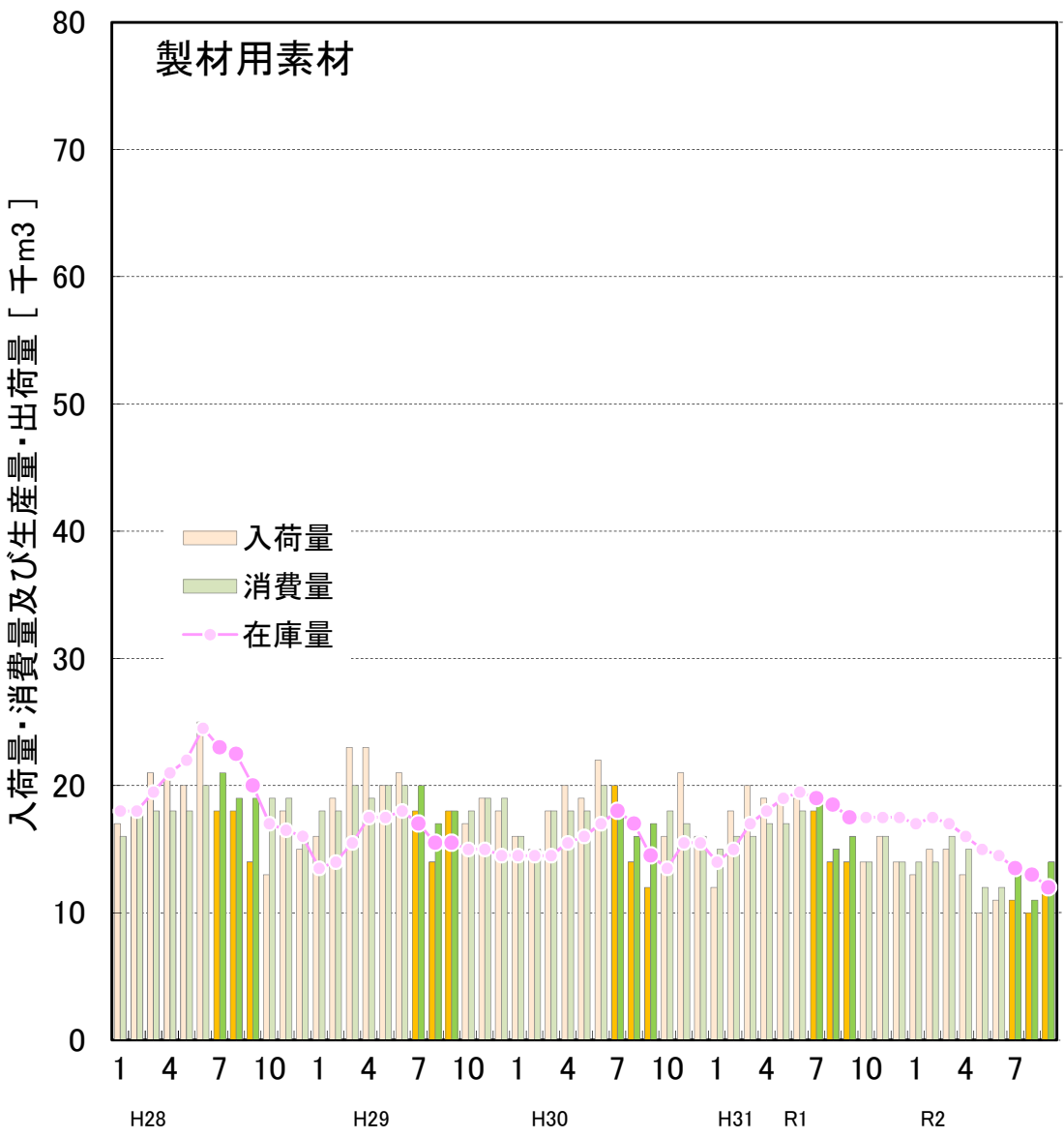


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# ■ 宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年9月)

○ 製材用素材の令和2年7～9月の入荷量は昨年同期比-28%、消費量は-24%、在庫量は9月比-31%。  
 ○ 製材品の令和2年度7～9月の生産量は昨年同期比-20%、出荷量は-9%、在庫量は9月比+14%。

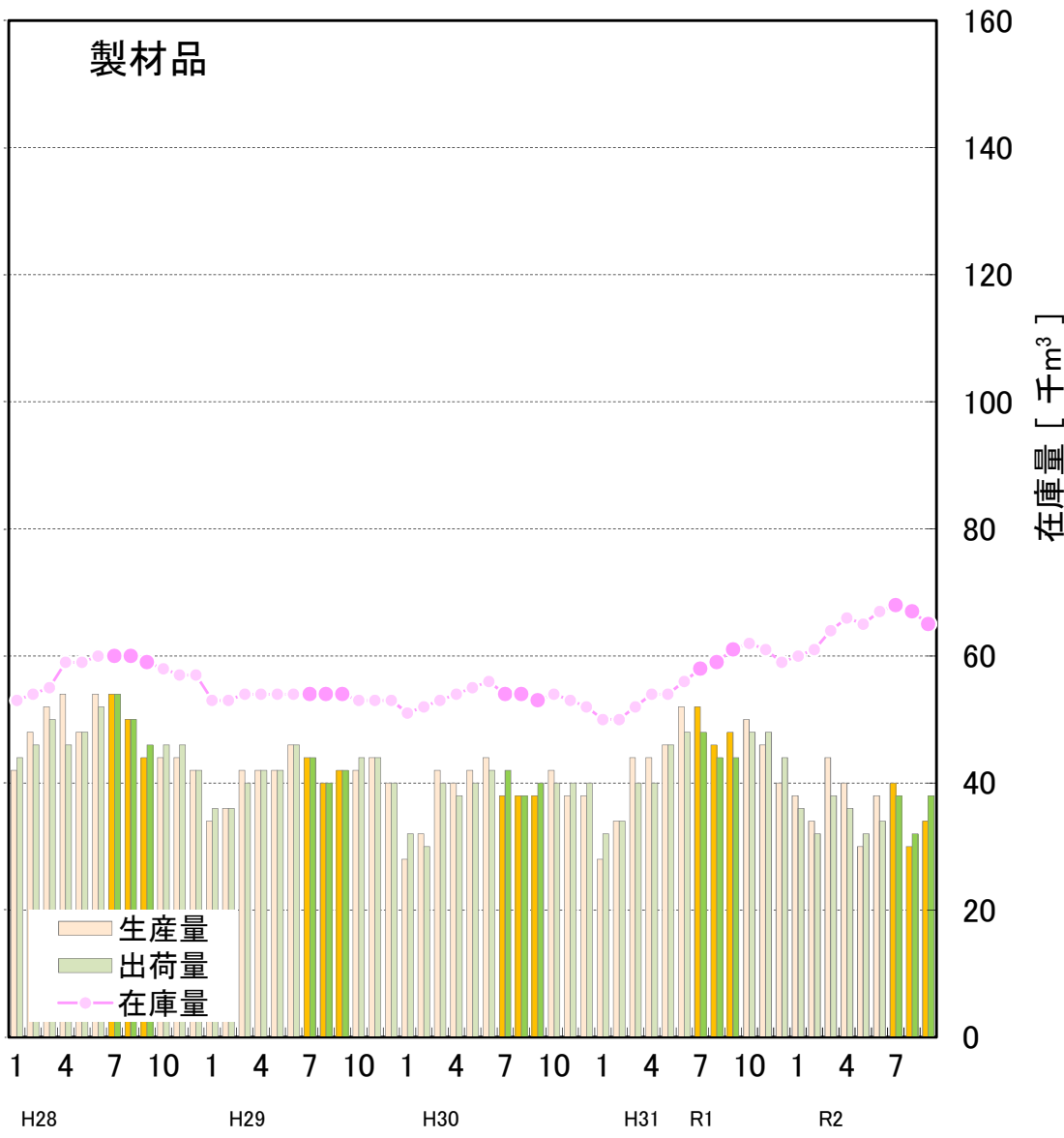
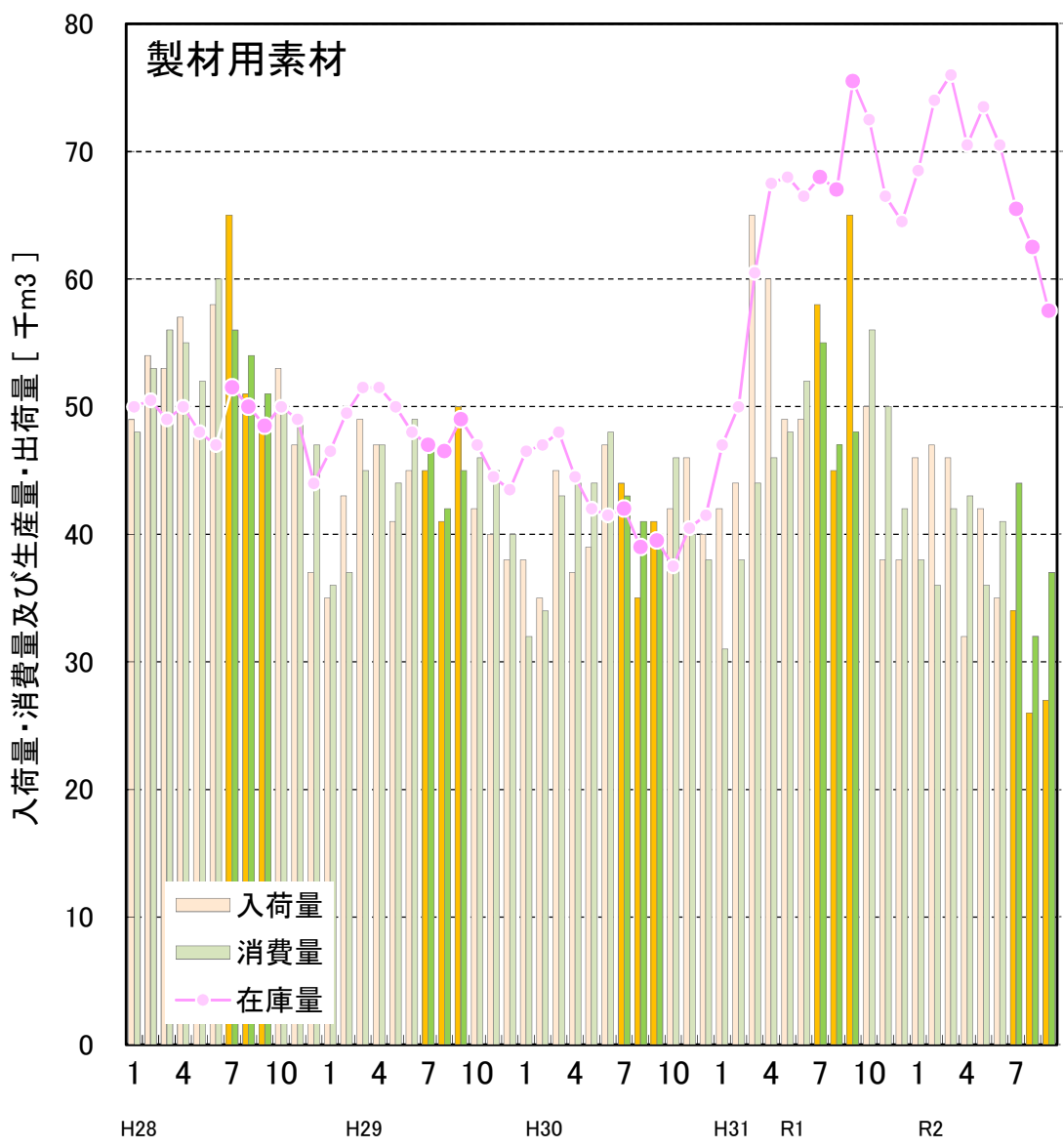


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# ■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年9月)

- 製材用素材の令和2年7～9月の入荷量は昨年同期比-48%、消費量は-25%、在庫量は9月比-24%。
- 製材品の令和2年度7～9月の生産量は昨年同期比-29%、出荷量は-21%、在庫量は9月比+7%。

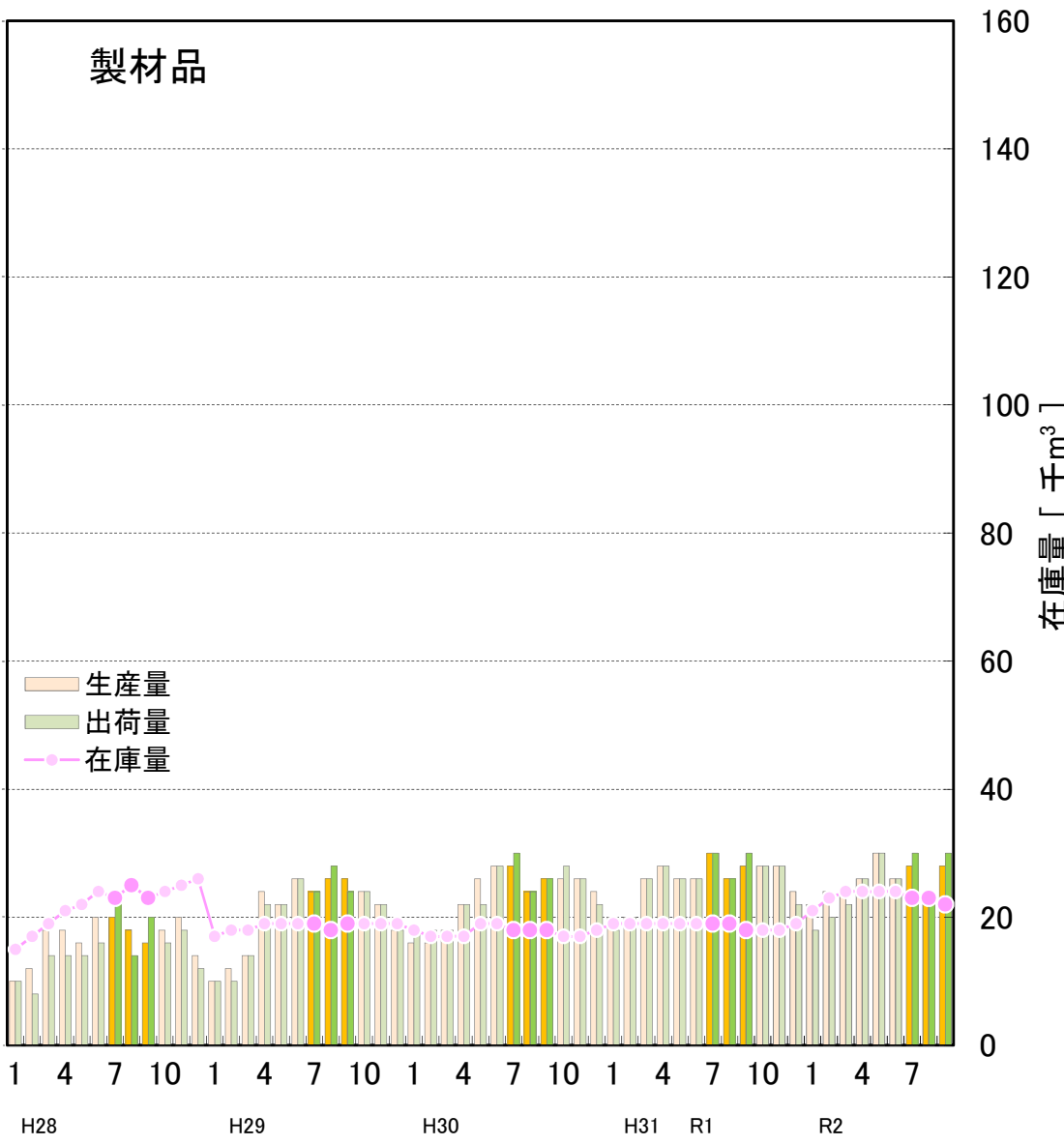
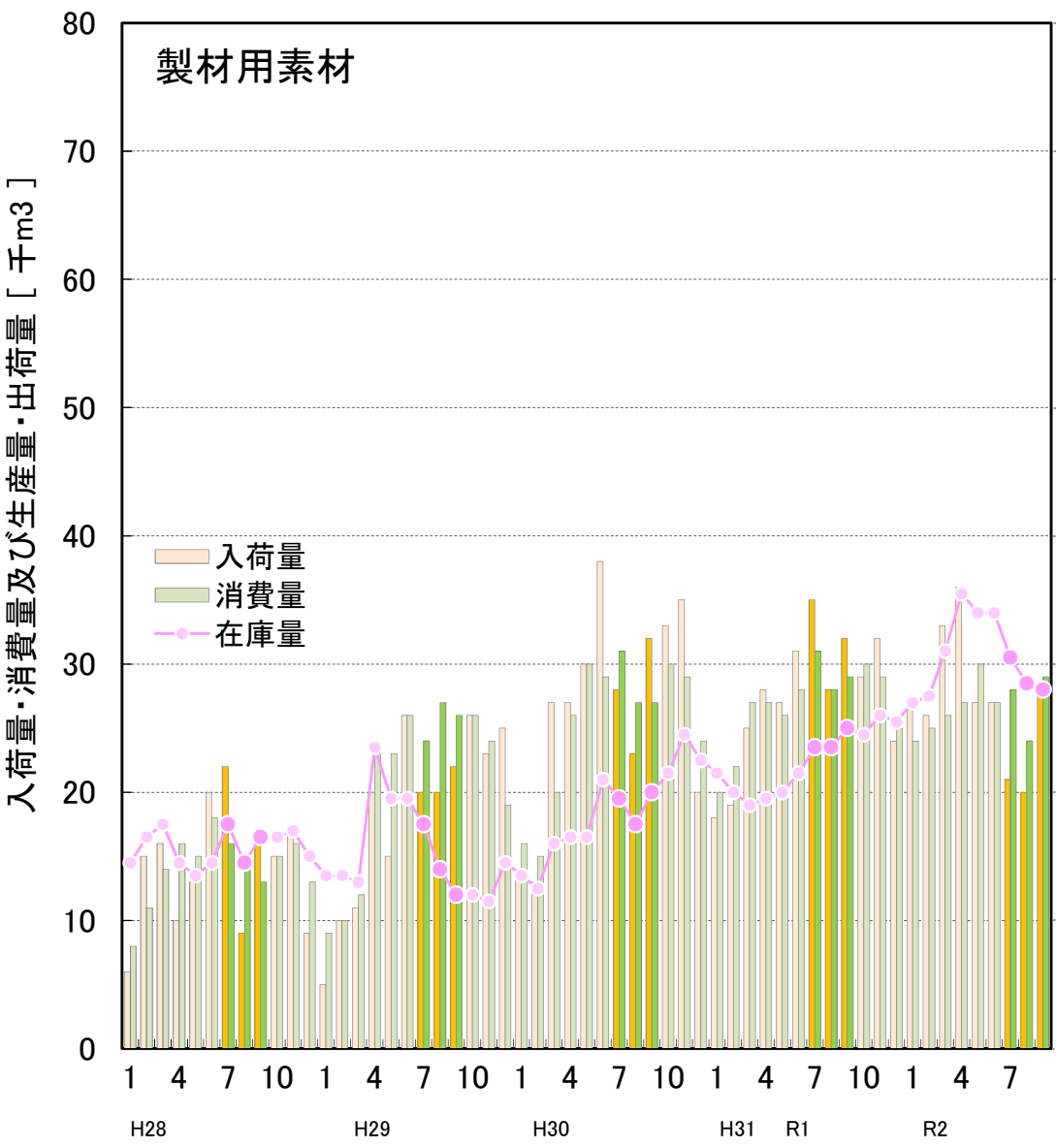


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# 山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移(平成28年1月～令和2年9月)

○ 製材用素材の令和2年7～9月の入荷量は昨年同期比-27%、消費量は-8%、在庫量は9月比+12%。  
 ○ 製材品の令和2年度7～9月の生産量は昨年同期比-7%、出荷量は-5%、在庫量は9月比+22%。

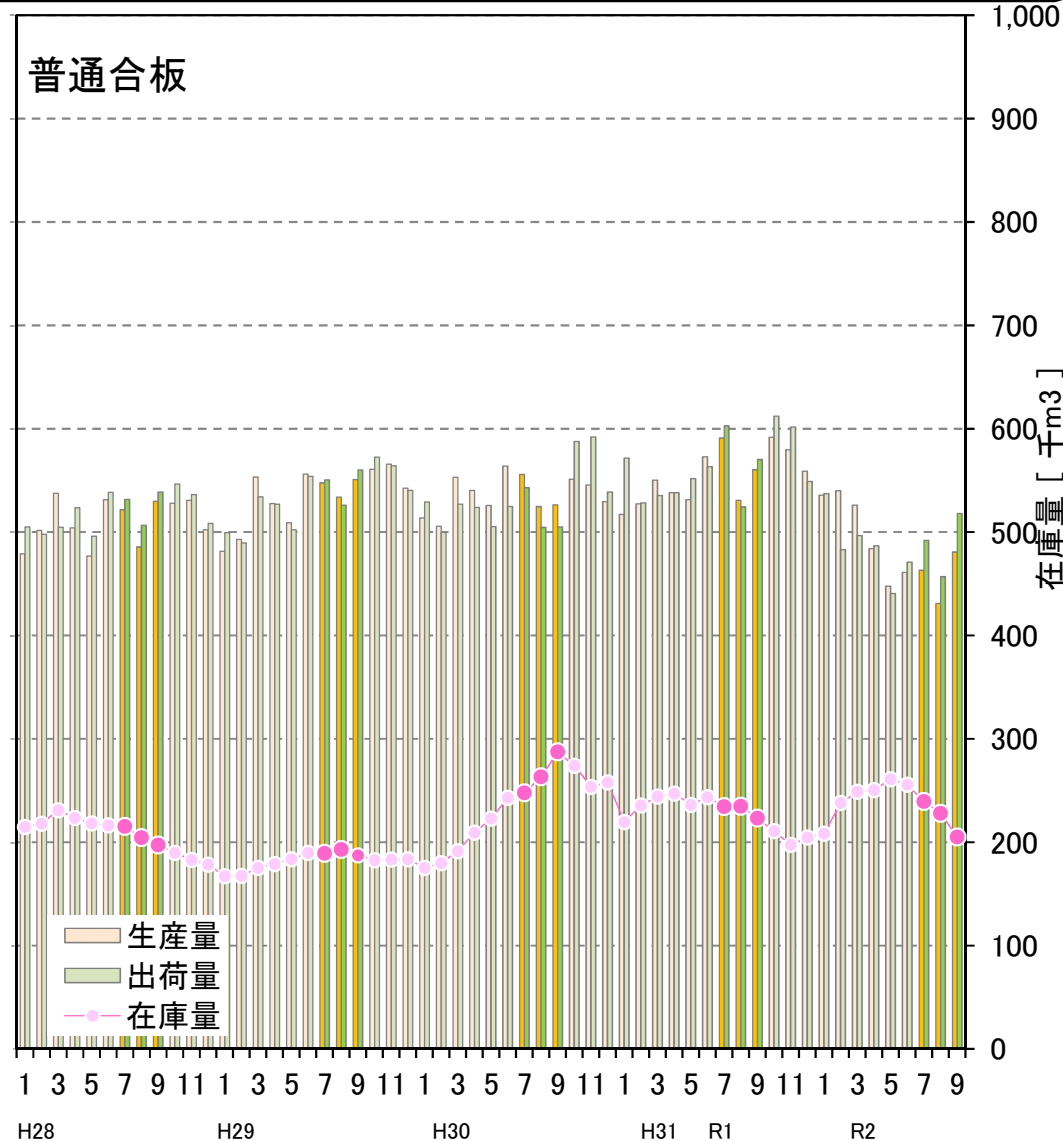
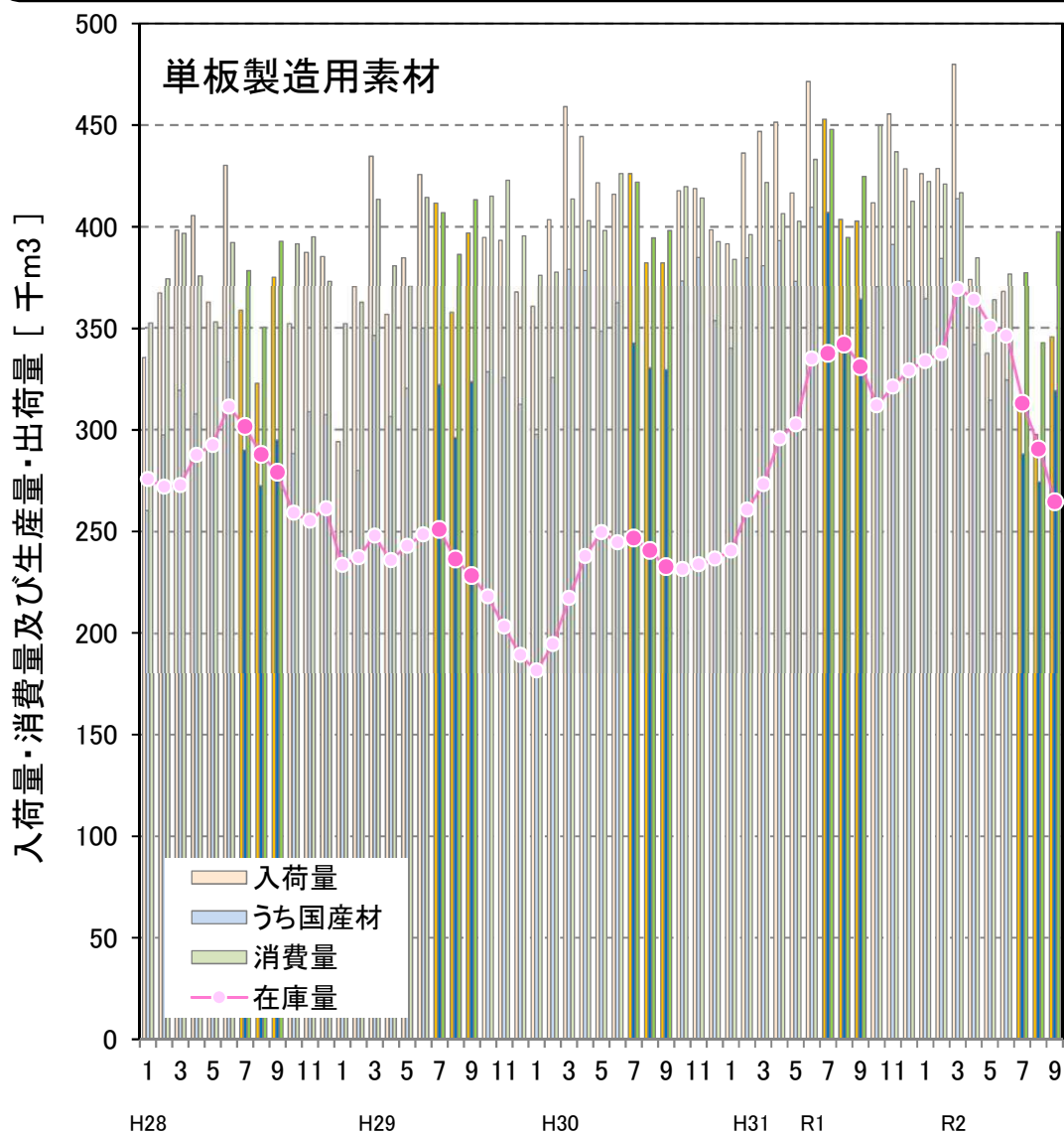


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値。

# ■ 全国の単板製造用素材・普通合板の入荷量等の推移(平成28年1月～令和2年9月)

- 単板製材用素材の令和2年7～9月期の入荷量は去年同期比-24%、うち国産材は-21%、消費量は-12%、在庫量は9月比-20%。
- 普通合板の令和2年7～9月期の生産量は去年同期比-18%、出荷量は-14%、在庫量は9月比-8%

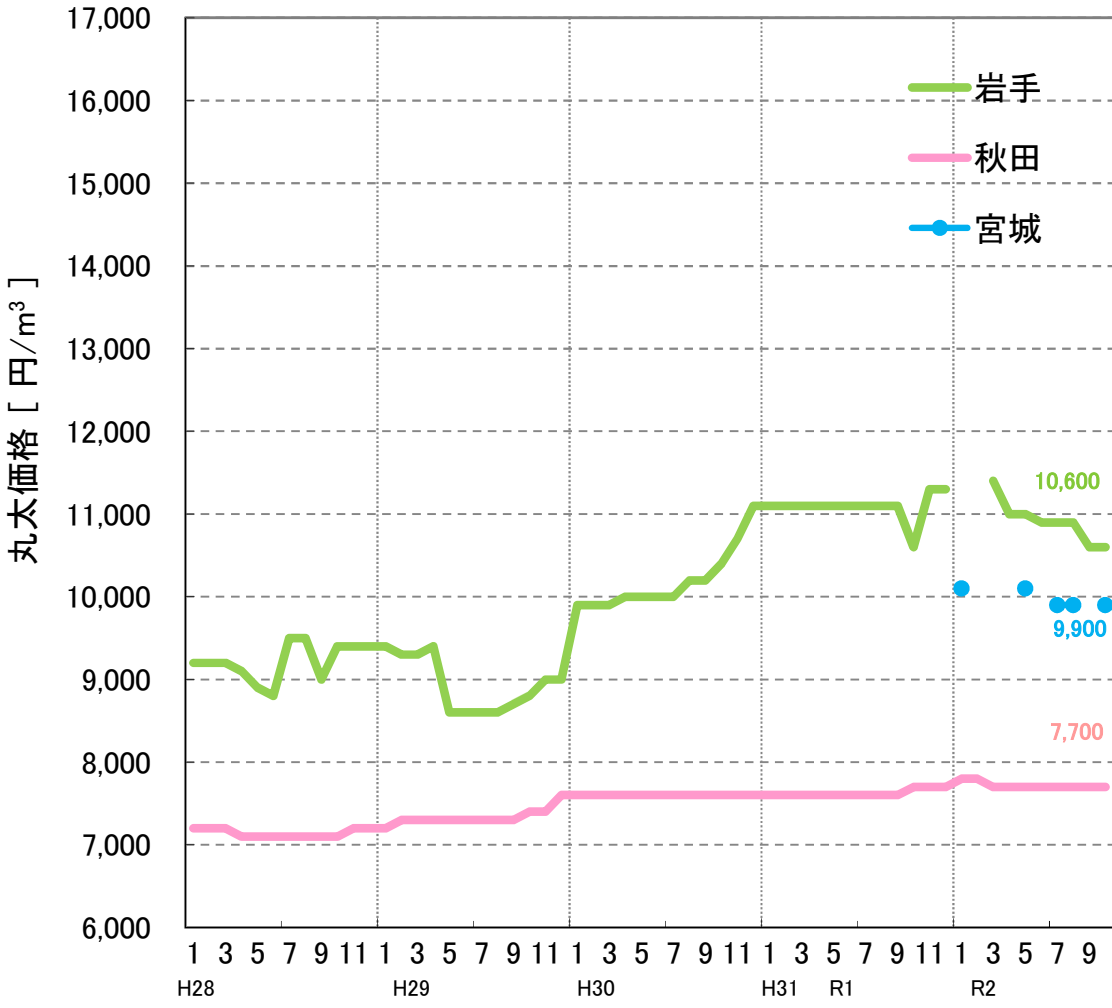


出典：農林水産省「合板統計」  
 ※単板製造用素材の集計値は令和元年6月に、普通合板の集計値は平成31年1月及び令和元年6月に調査対象工場の見直しがあったため、その先月の数値とは接続しない。

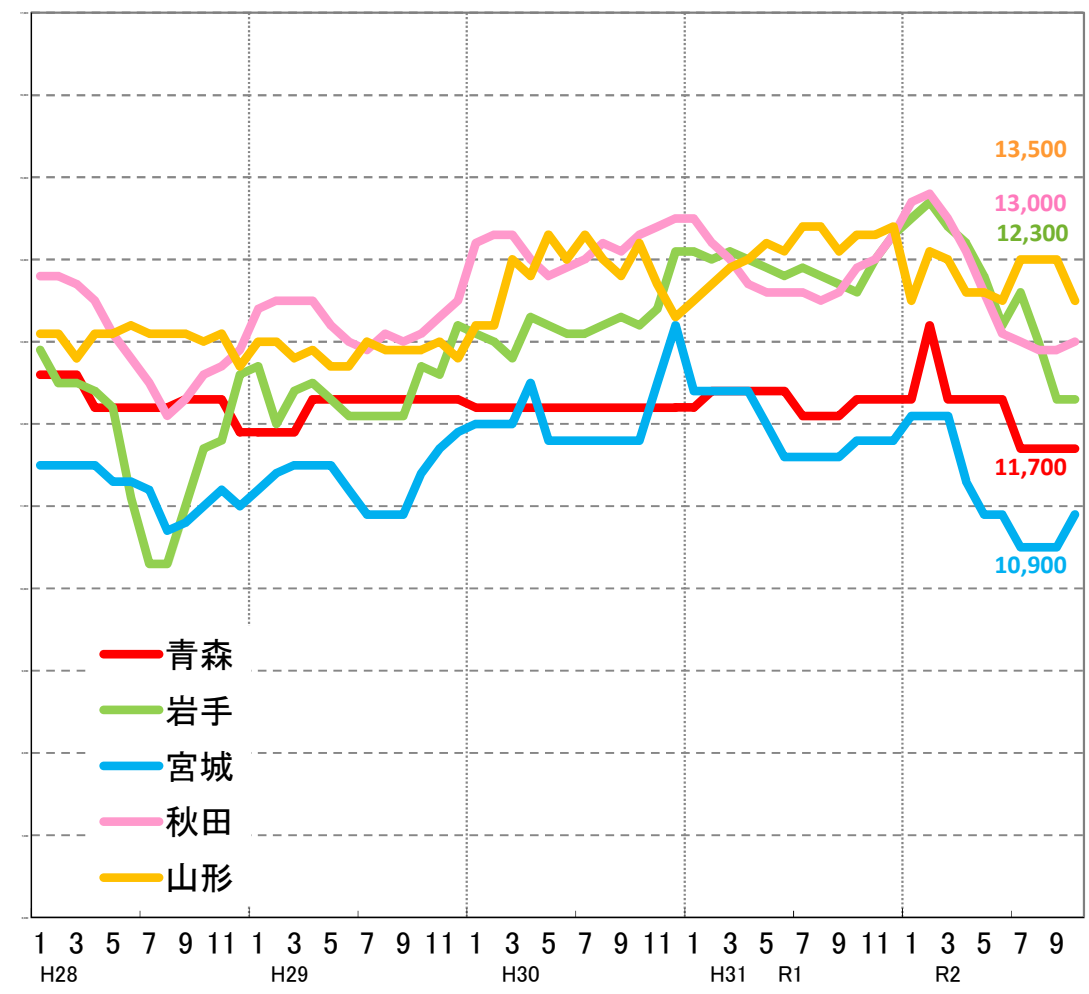
# ■ すぎ丸太価格の推移(平成28年1月～令和2年10月)

○ すぎ小丸太価格は岩手、宮城、秋田ともおおむね保合で推移。  
 ○ すぎ中丸太価格は宮城は強含み、山形は弱含みで推移。

すぎ小丸太 3.65～4.00m (8～13cm)



すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格。  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

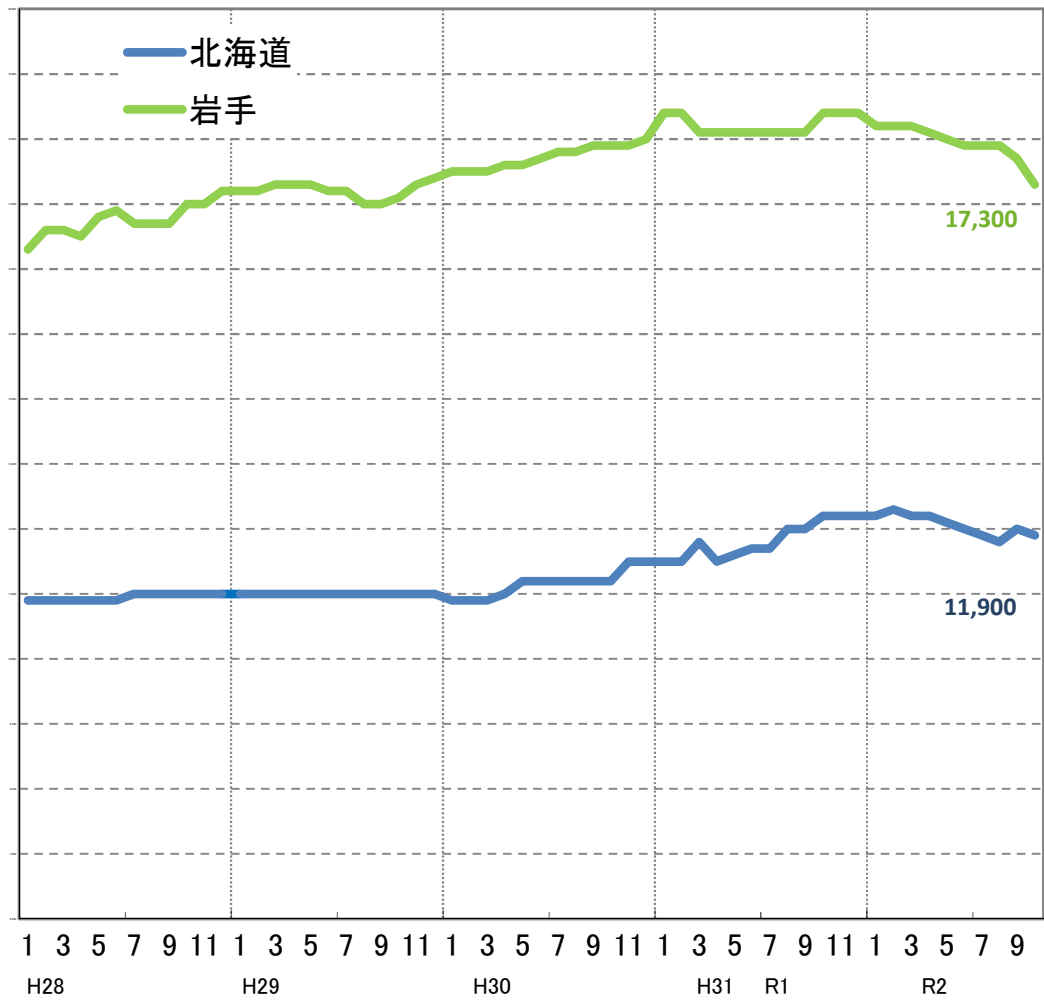
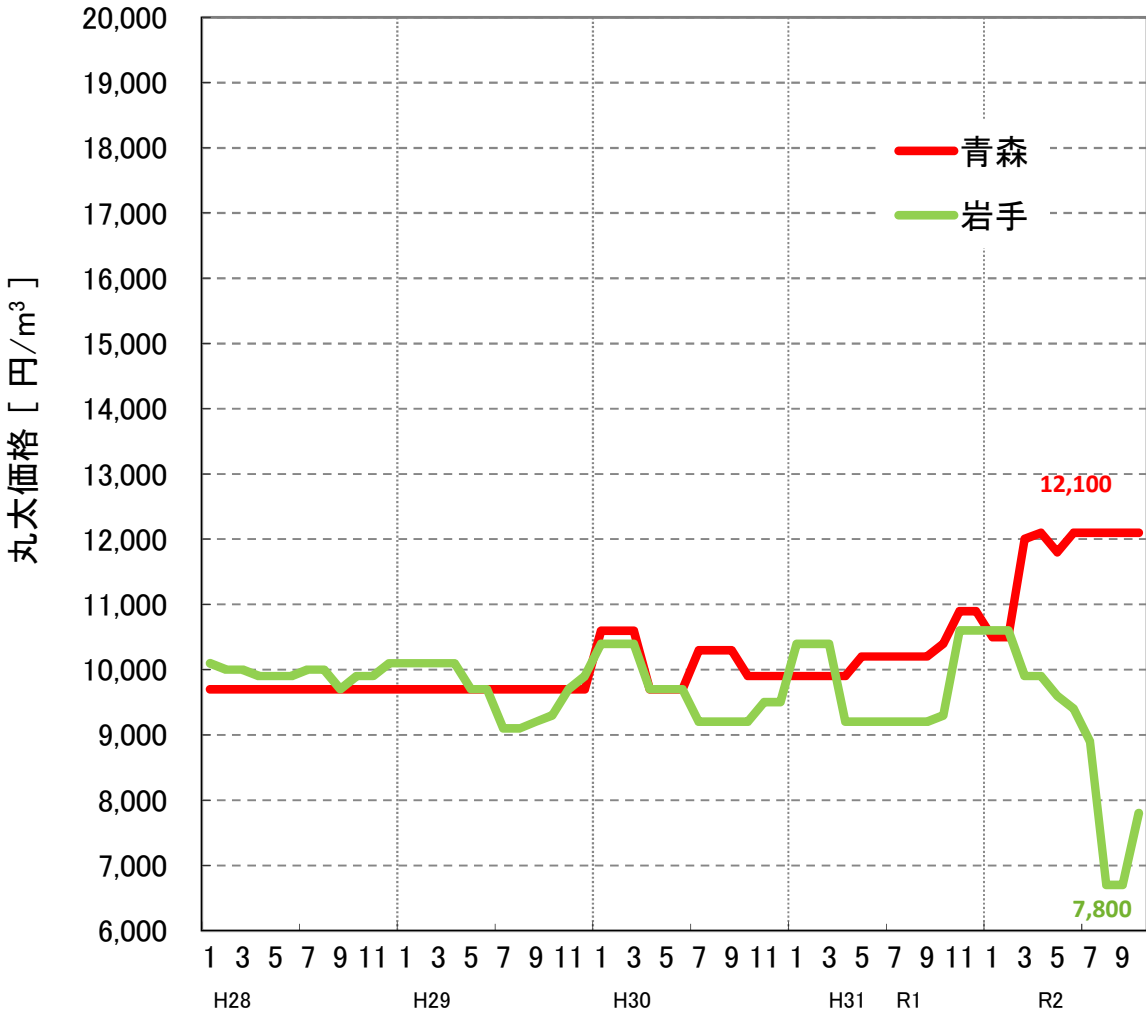


# ■ まつ・からまつ丸太価格の推移(平成28年1月～令和2年10月)

○ まつ中丸太価格は、青森は保合、岩手で強含みで推移。  
 ○ からまつ中丸太価格は、岩手は弱含み。北海道との価格差は5,400円。

まつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

からまつ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

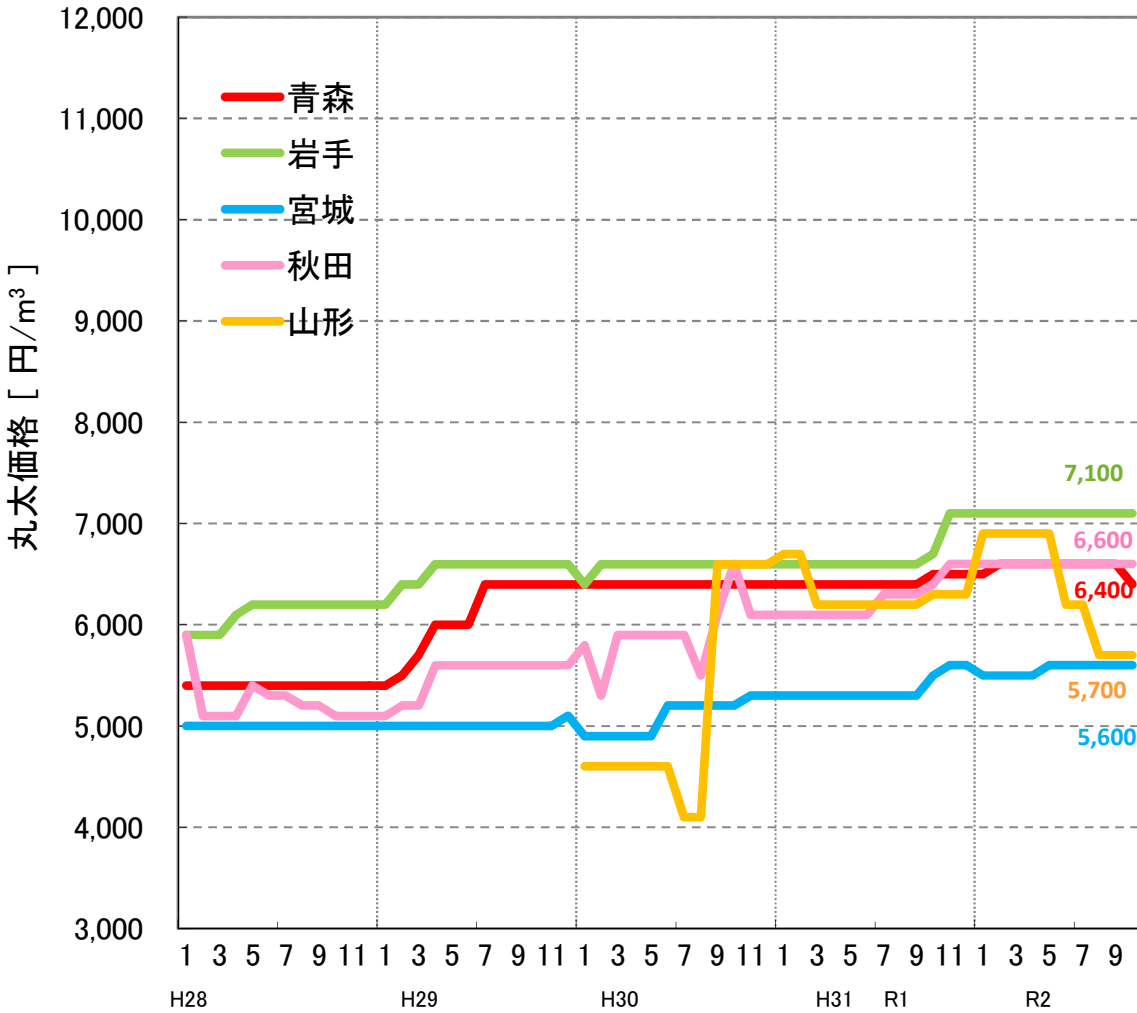


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格。  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

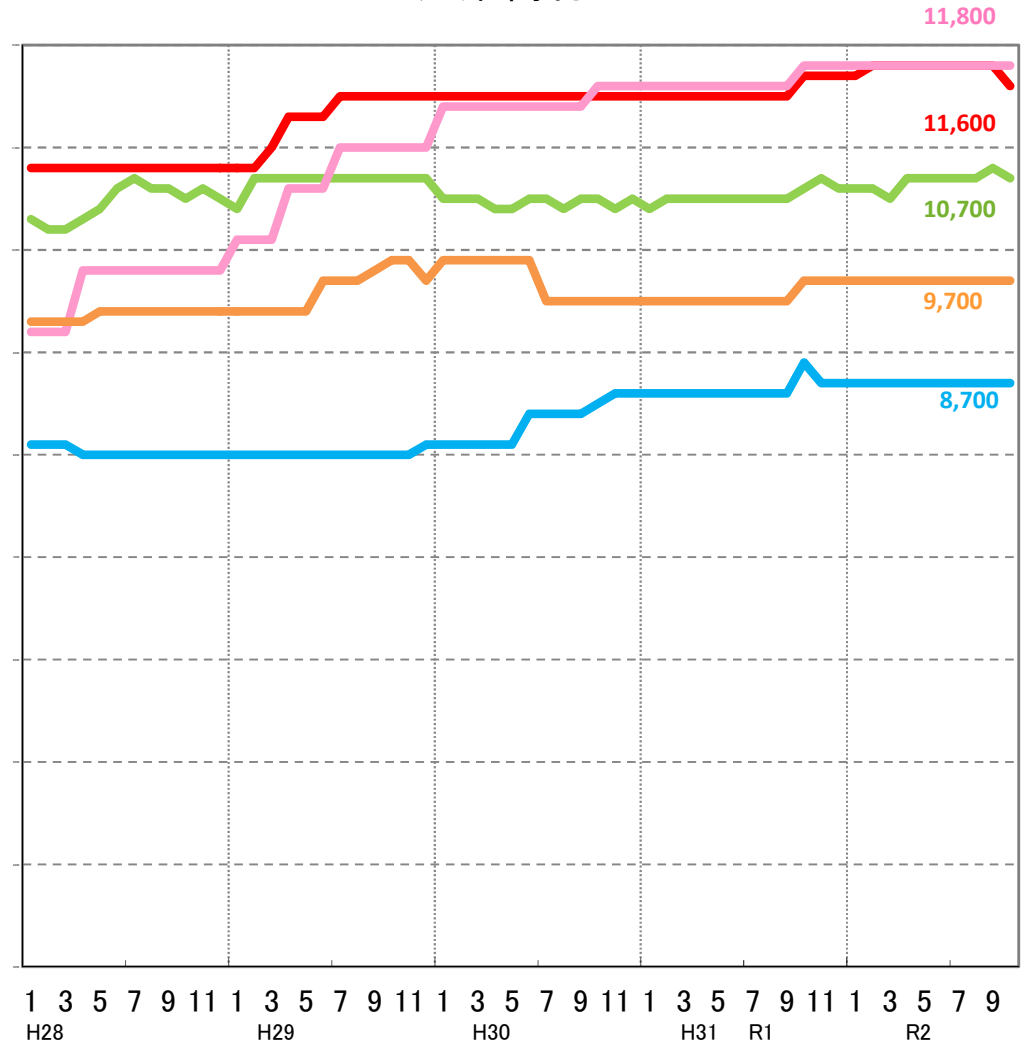
# ■ チップ用丸太価格の推移(平成28年1月～令和2年10月)

○ 針葉樹・広葉樹丸太とも青森県は弱含み、その他の県はおおむね保合で推移。

## 針葉樹材



## 広葉樹材



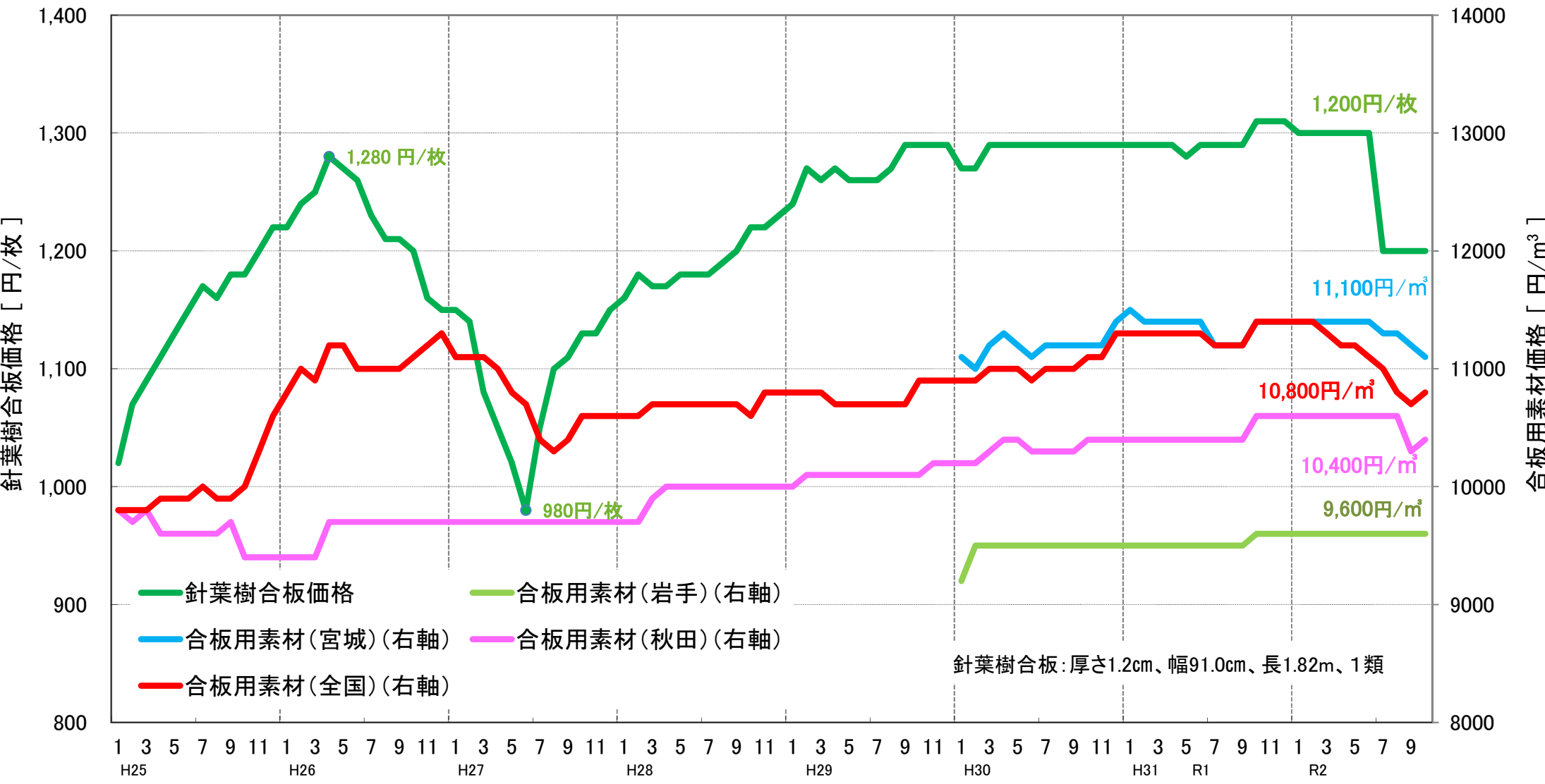
出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」

※ 価格は工場着価格。

※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

# 針葉樹合板及び合板用素材価格の推移(平成28年1月～令和2年10月)

- 針葉樹合板価格は1,200円/枚。
- 合板用素材価格は宮城は弱含み、岩手は保合で推移。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

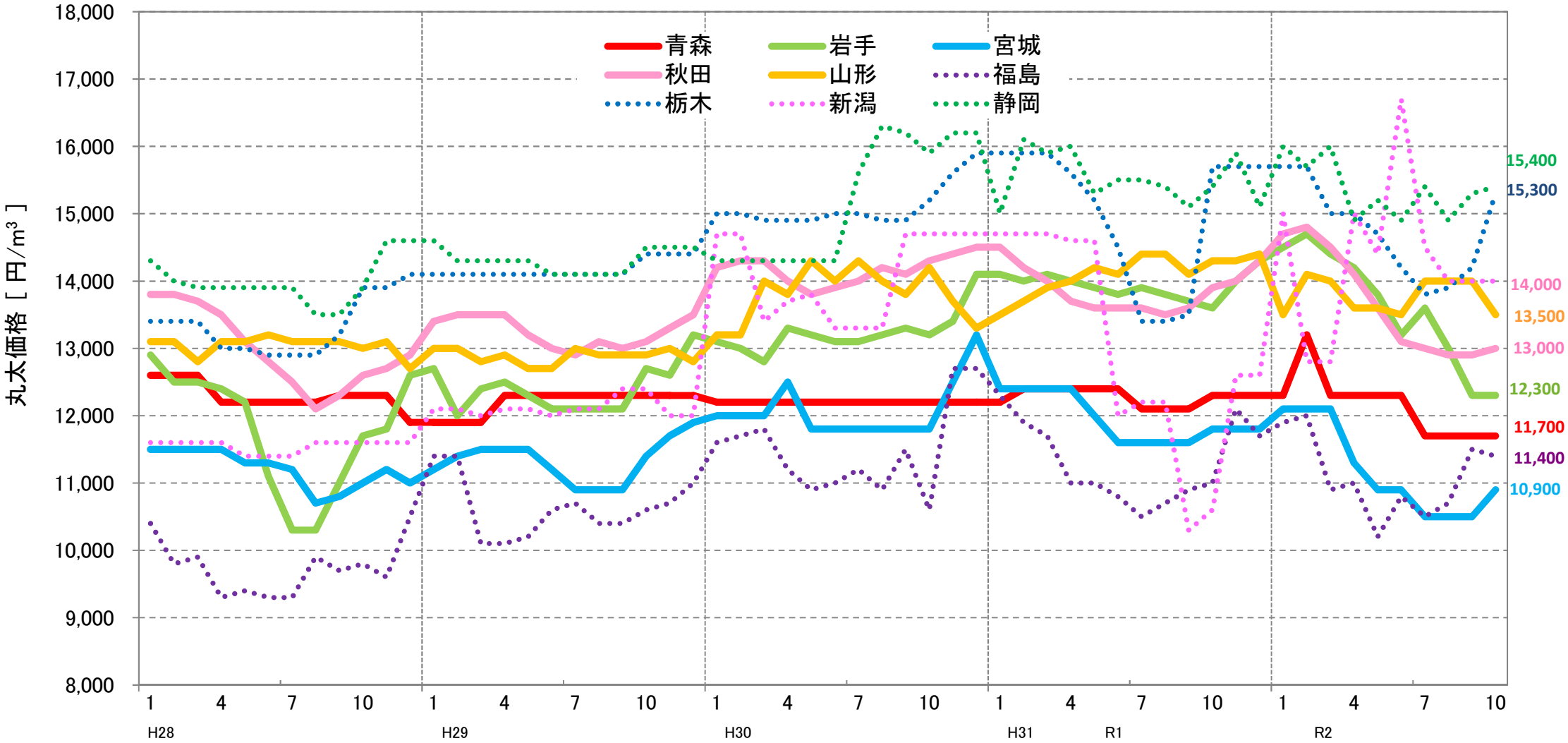
※ 平成30年1月に調査都道府県、調査対象工場の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合単板工場着購入価格である。

# ■ 関東地方との木材価格の比較(平成28年1月～令和2年10月)

○ 東北5県では宮城で強含み、山形で弱含んでいる。  
 ○ 栃木・静岡で強含んでいる。

すぎ中丸太 3.65～4.00m (24～28cm)

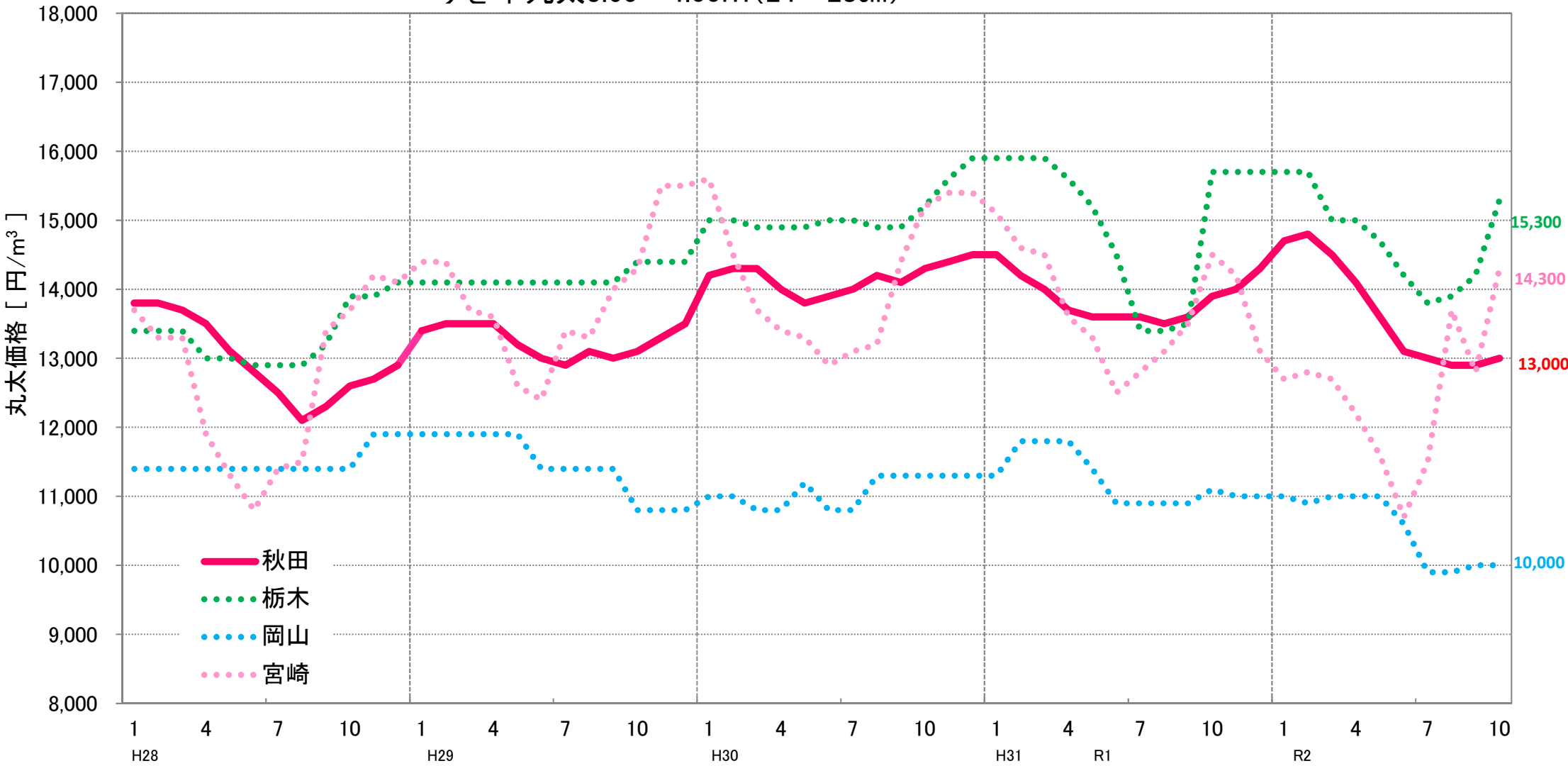


出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

# ■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較(平成28年1月～令和2年10月)

○ 栃木、宮崎は強含み、秋田、岡山は保合で推移している。  
 ○ 秋田と栃木では価格差が2,300円。

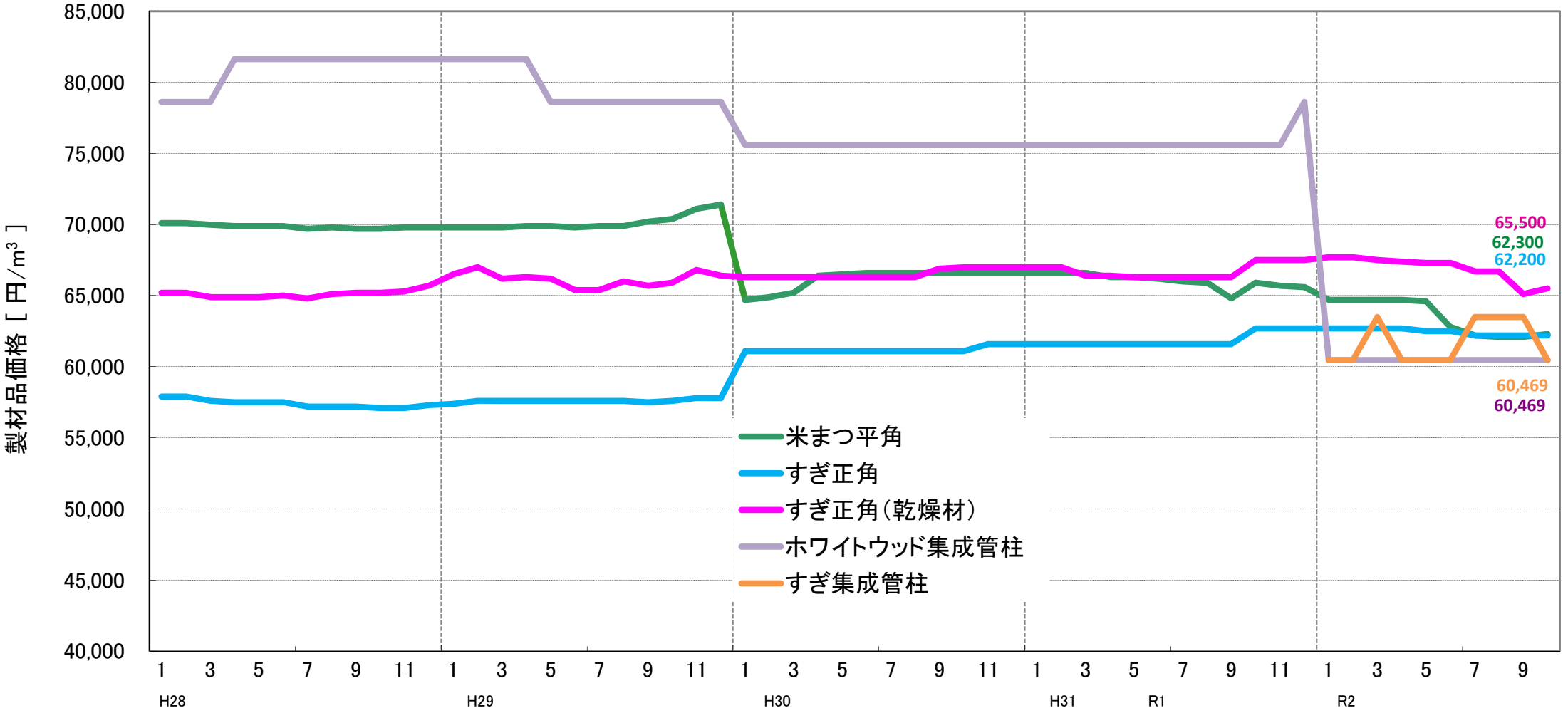
すぎ中丸太3.65～4.00m(24～28cm)



出典：農林水産省「木材需給報告書」、「木材価格」  
 ※ 価格は工場着価格  
 ※ 平成30年1月から調査対象工場の見直しがあったため、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

# ■ 全国の製材品主要品目価格の推移(平成28年1月～令和2年10月)

○ すぎ正角、ホワイトウッド集成管柱は保合で推移している。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

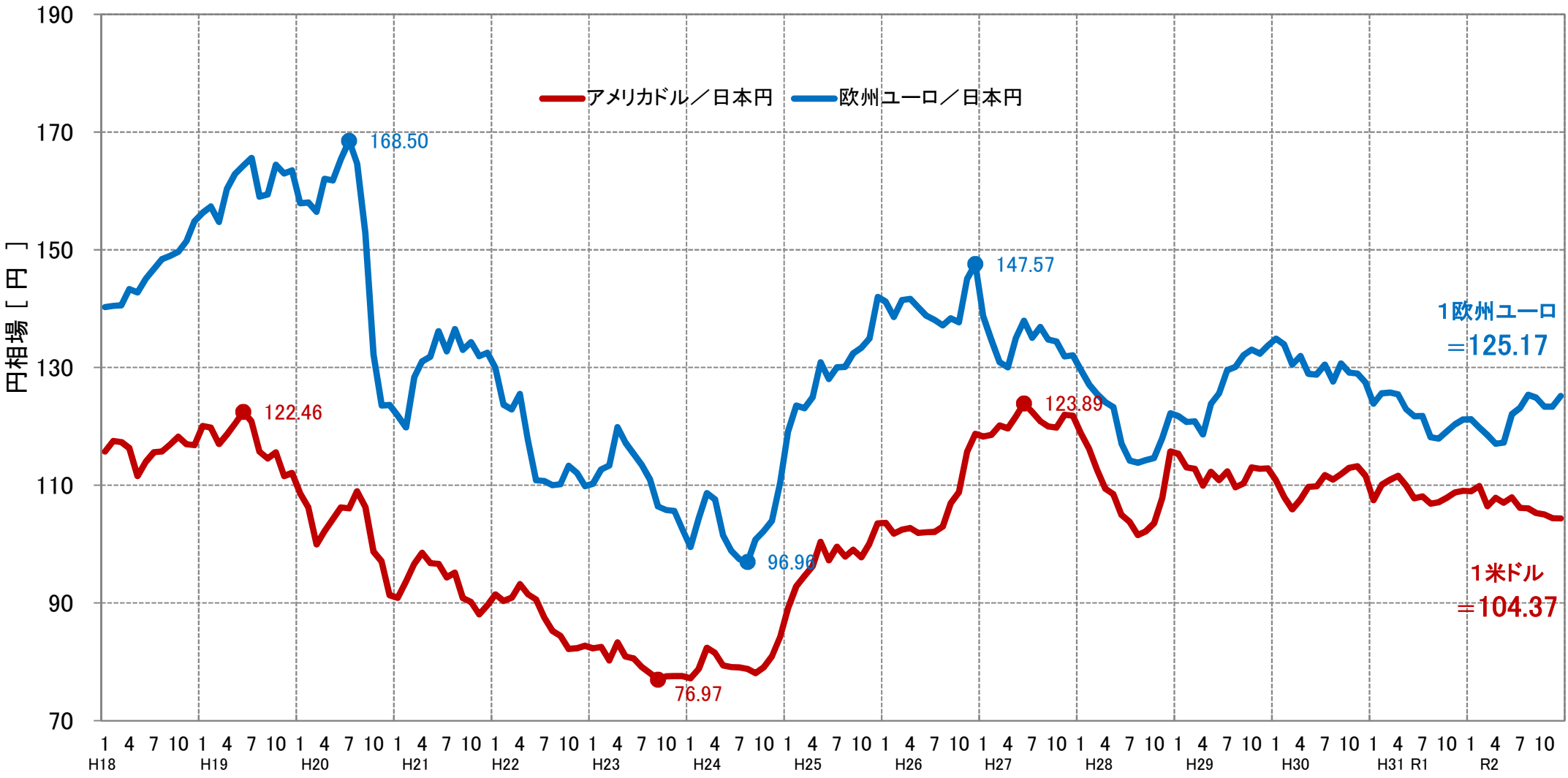
※1 価格は、令和2年1月以降のホワイトウッド集成管柱及びすぎ集成管柱は集成材工場出荷時の販売価格、それ以外は木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格となる。

※2 平成30年1月に調査都道府県、調査対象工場の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。

※3 令和2年1月からホワイトウッド集成管柱は規格及び調査都道府県、調査対象工場の見直しを行い、調査価格も※1の通り変更となったことから、令和元年12月以前の数値とは接続しない。

# 為替レートの推移(平成18年1月～令和2年12月3日)

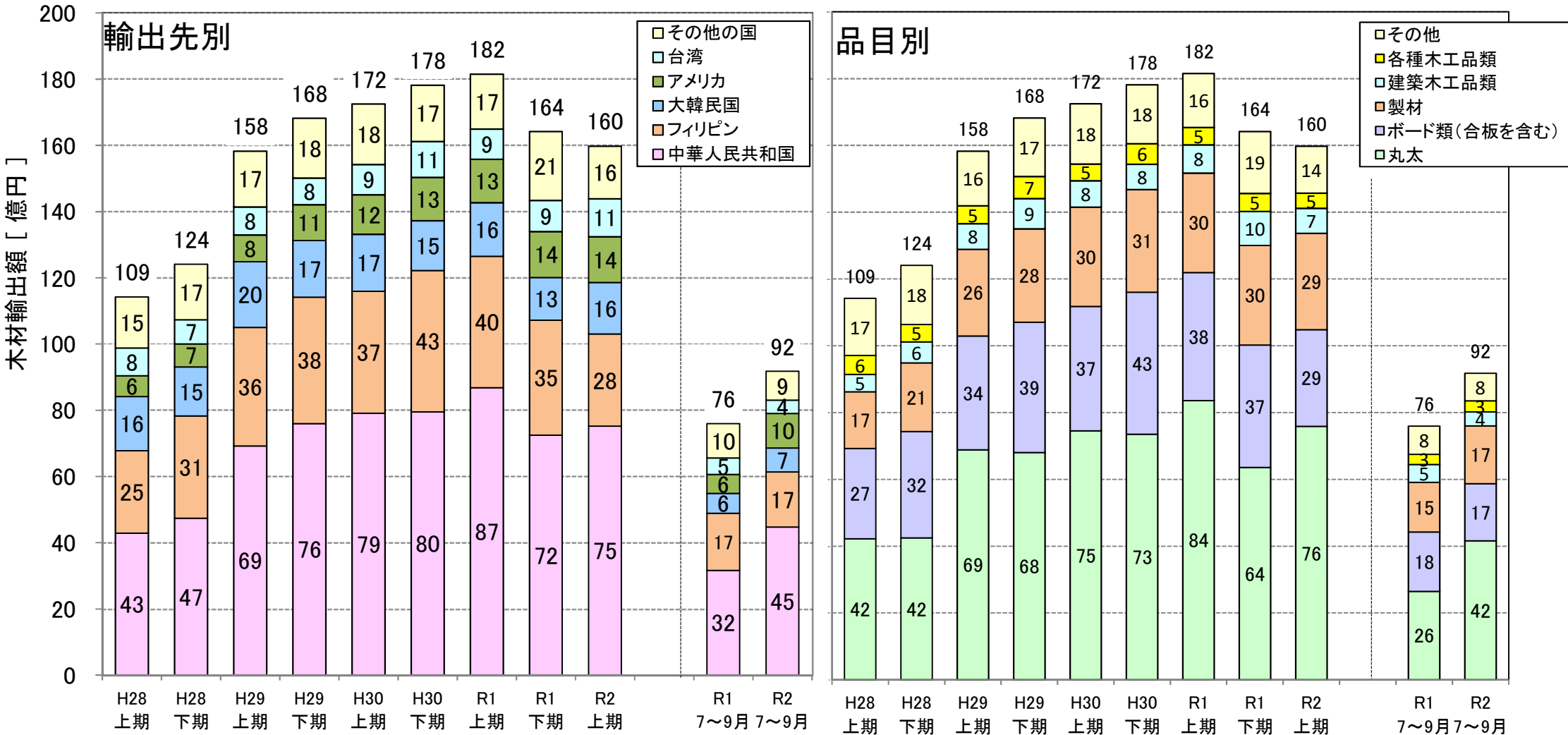
○ 米ドルは、12月3日現在104円台。  
 ○ 欧州ユーロは、12月3日現在125円台。



出典：Yahoo!ファイナンス(毎月の値は月間の最高値と最低値の平均)

# ■ 輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移(全国)

- 木材輸出額はR2年7～9月は前年同期と比較して+21%となっている。
- R2年7～9月の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額では丸太が最も高く、次いで製材、ボード類となっている。
- 品目別の前年同期比は、丸太が+57%、製材が+16%、ボード類が-4%となっている。

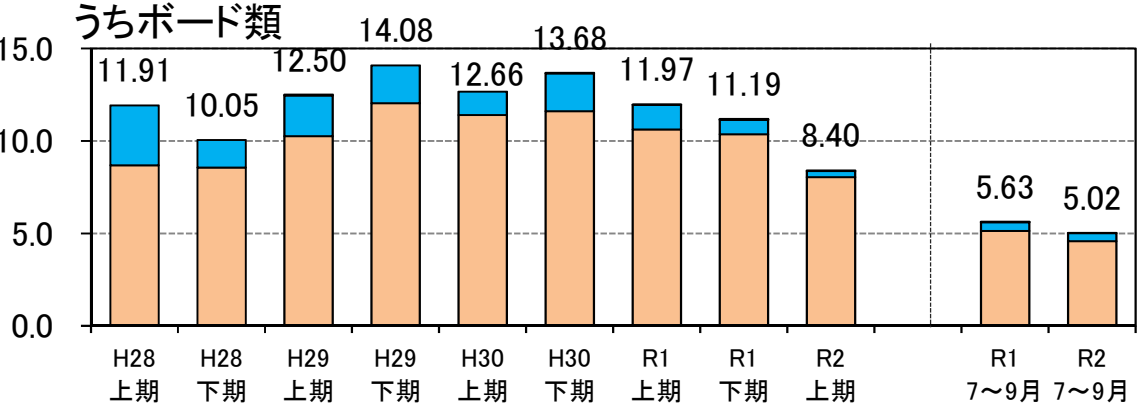
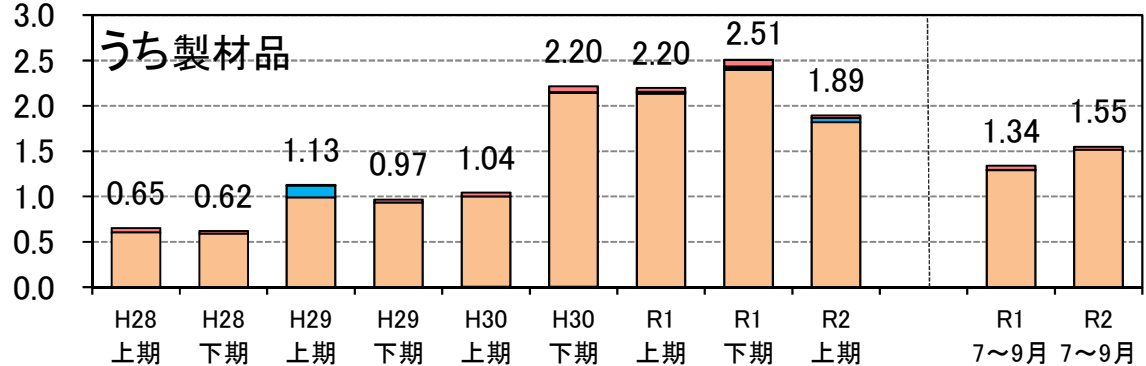
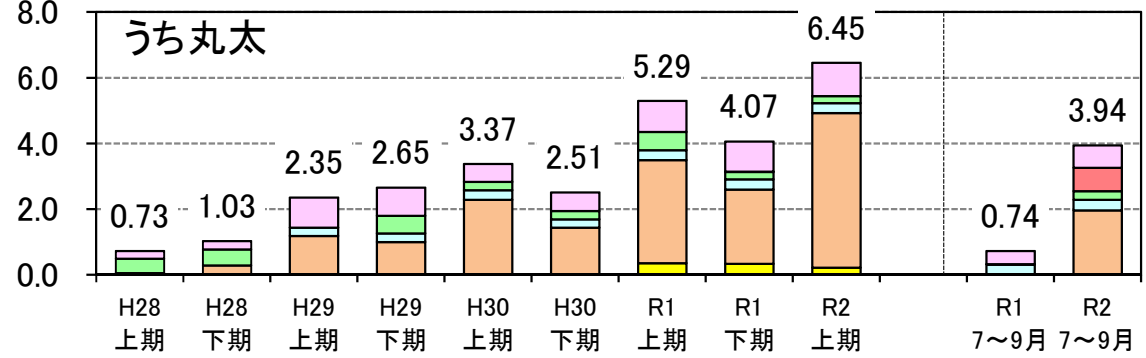
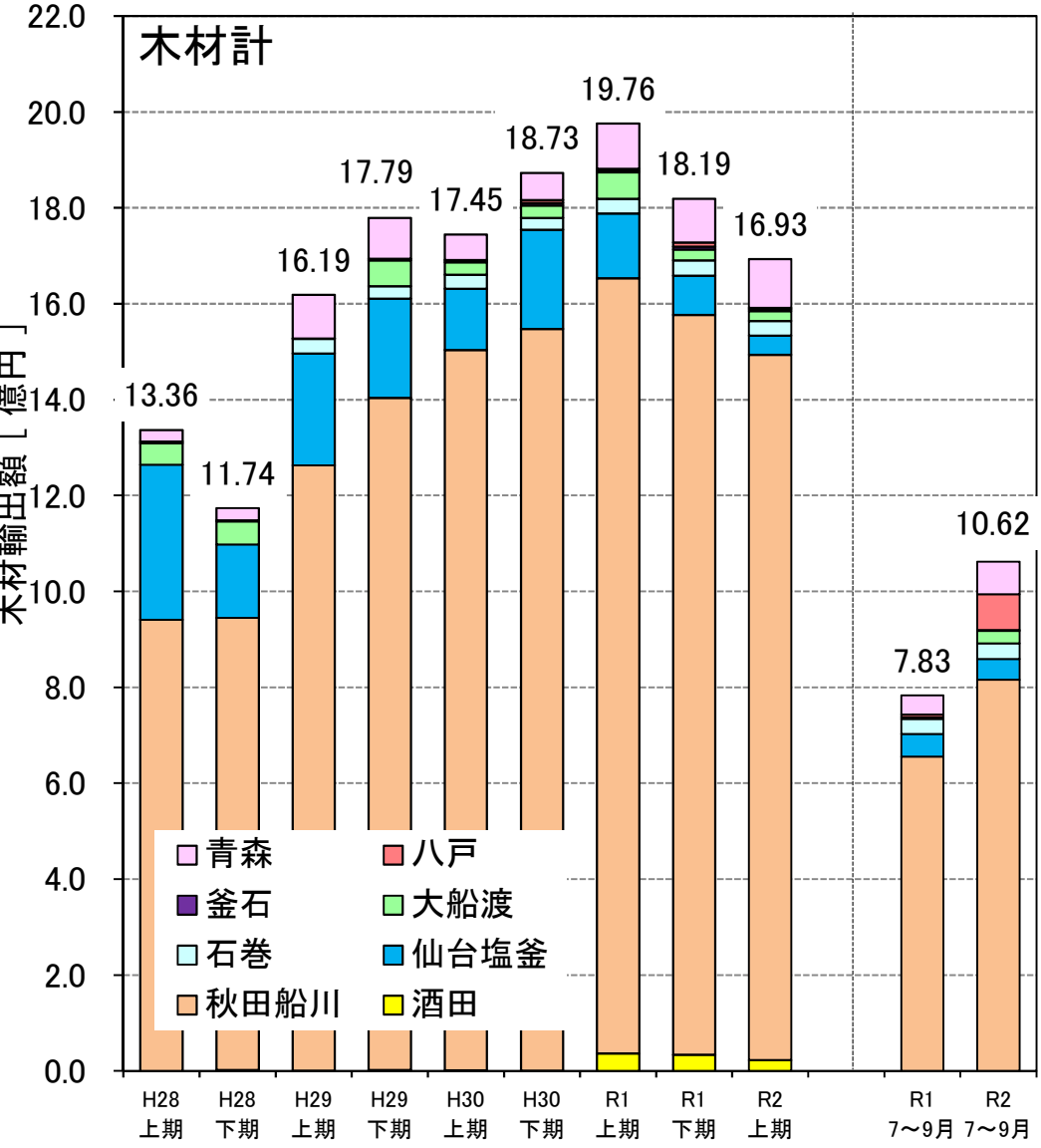


出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」



# ■ 東北5県における木材輸出額の推移

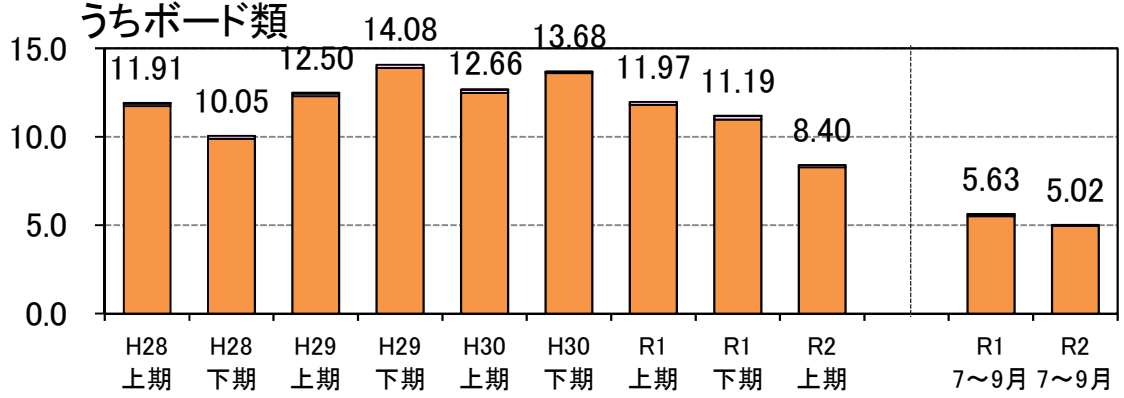
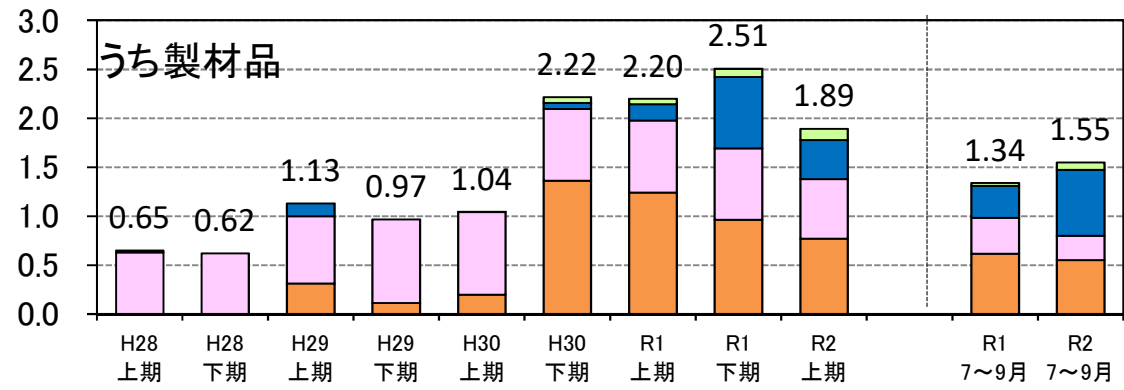
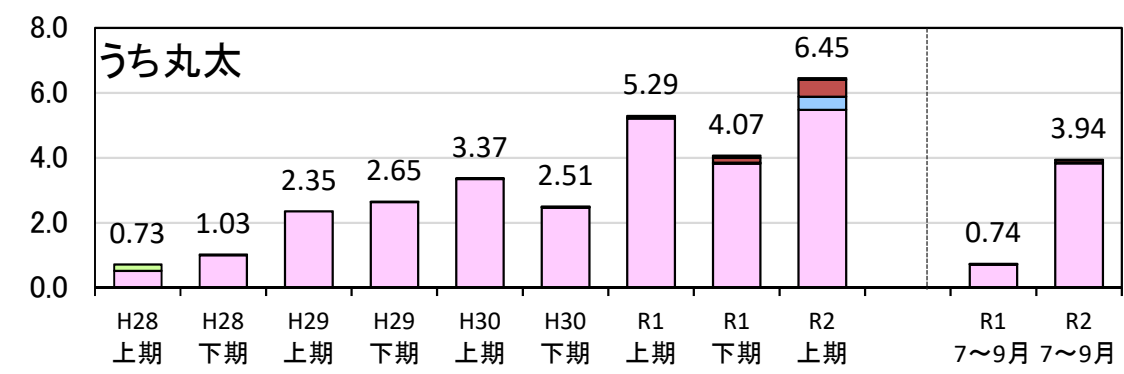
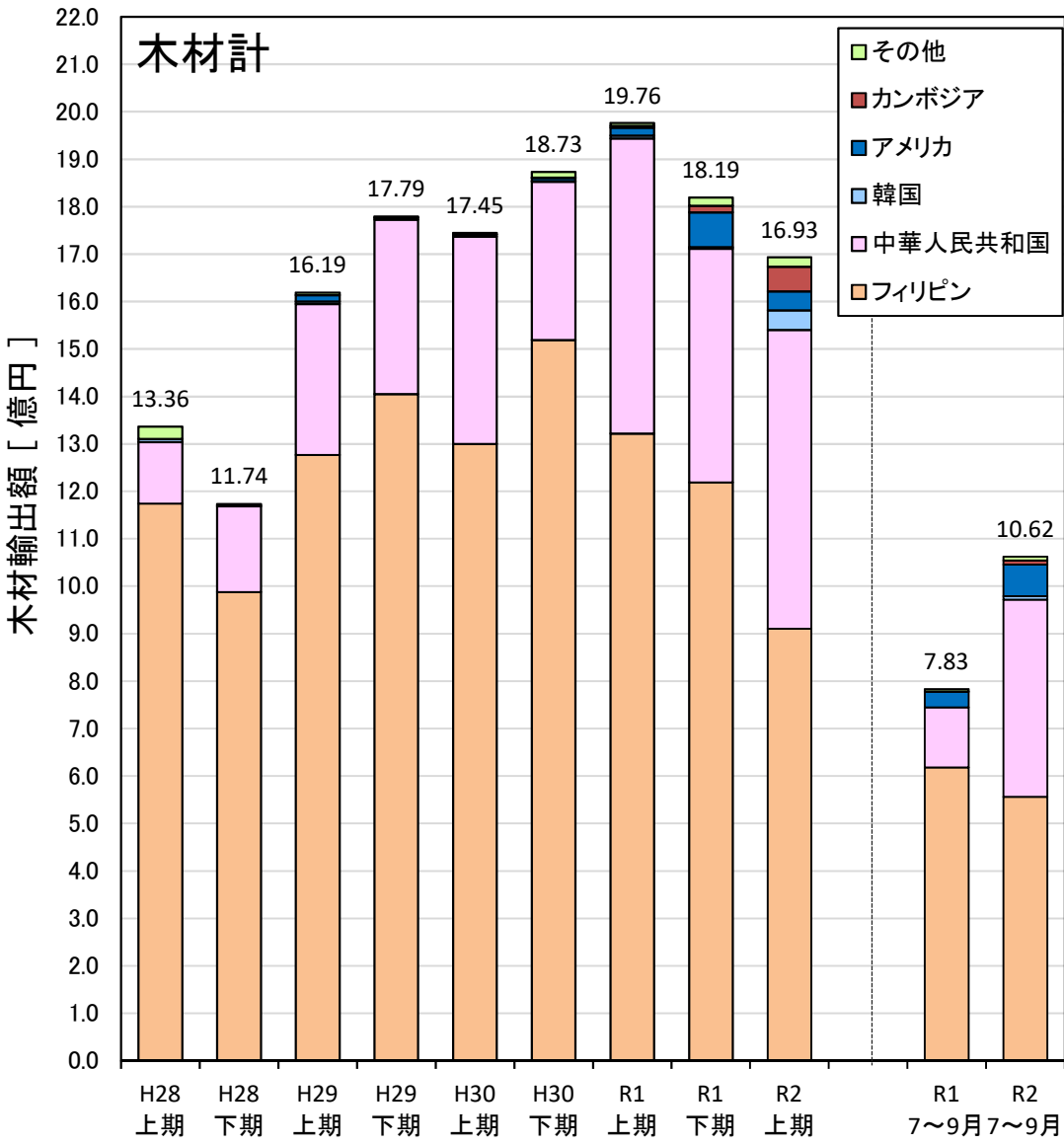
○ 東北5県におけるR2年7～9月の木材輸出額は前年同期と比較して+36%となっている。  
 ○ R2年7～9月を前年同期と品目別に比較すると丸太が+435%、製材が+16%、ボード類が-11%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

# ■ 東北5県における輸出先別の木材輸出額の推移

○ R2年上期の主要相手国は、フィリピンが最も高く、次いで中国となっている。  
 ○ 品目別では丸太は中国が最も多く、製材品はアメリカが、ボード類はフィリピンが最も高い。

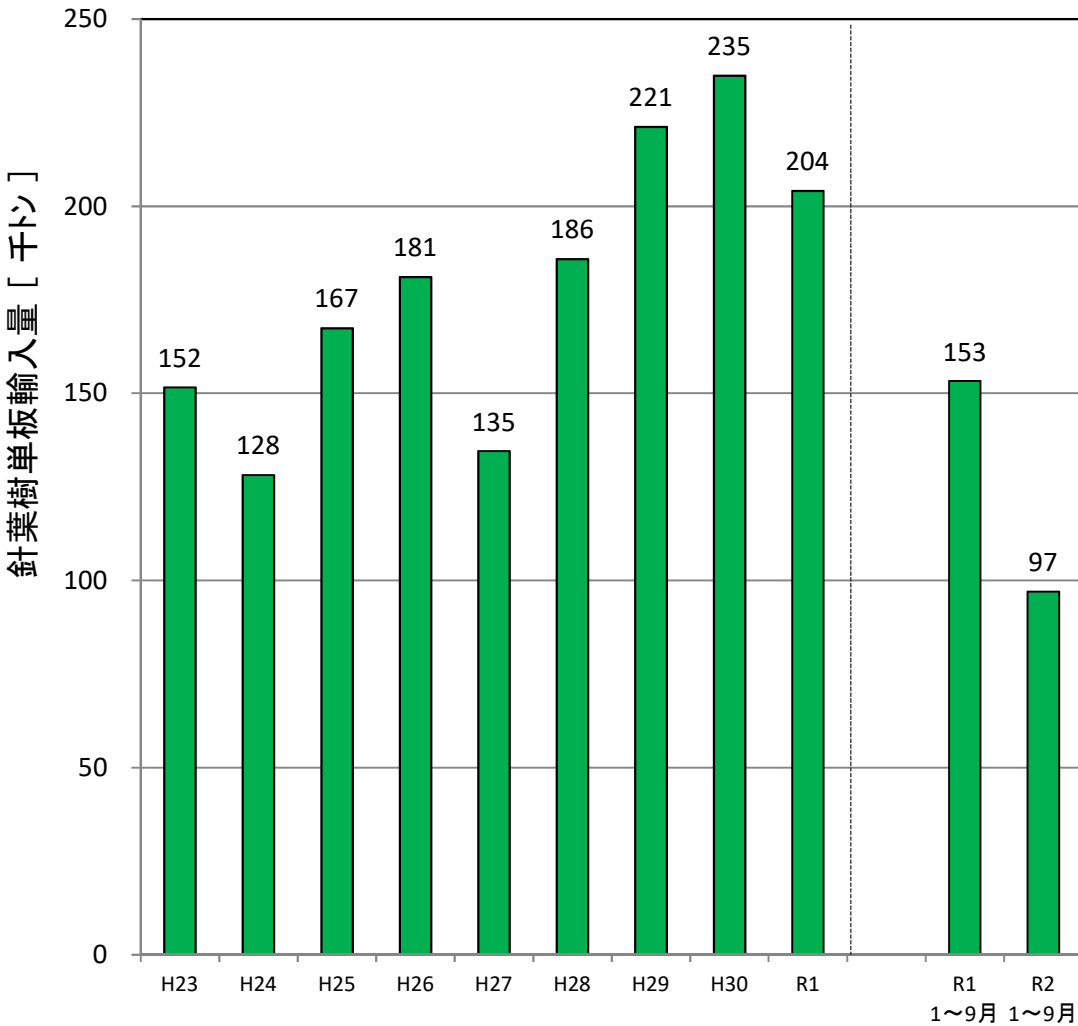


出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

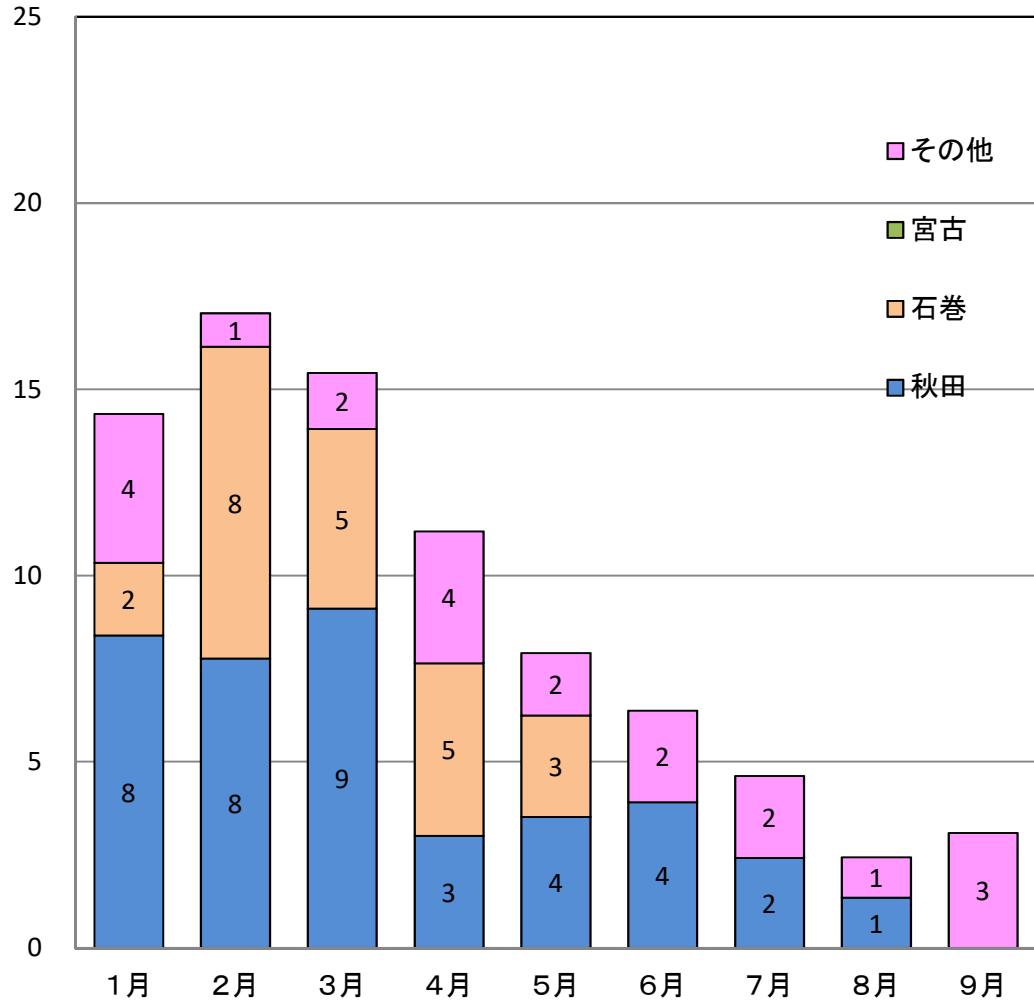
# ロシアからの針葉樹単板輸入量の推移

○ ロシアからのR2年1～9月期の針葉樹単板輸入量は、前年同期と比較すると-37%となっている。  
 ○ R2年1～9月の港別輸入量の比率は、秋田48%、石巻27%、その他25%となっている。

## 針葉樹単板(ロシア)



## 月別港別輸入量

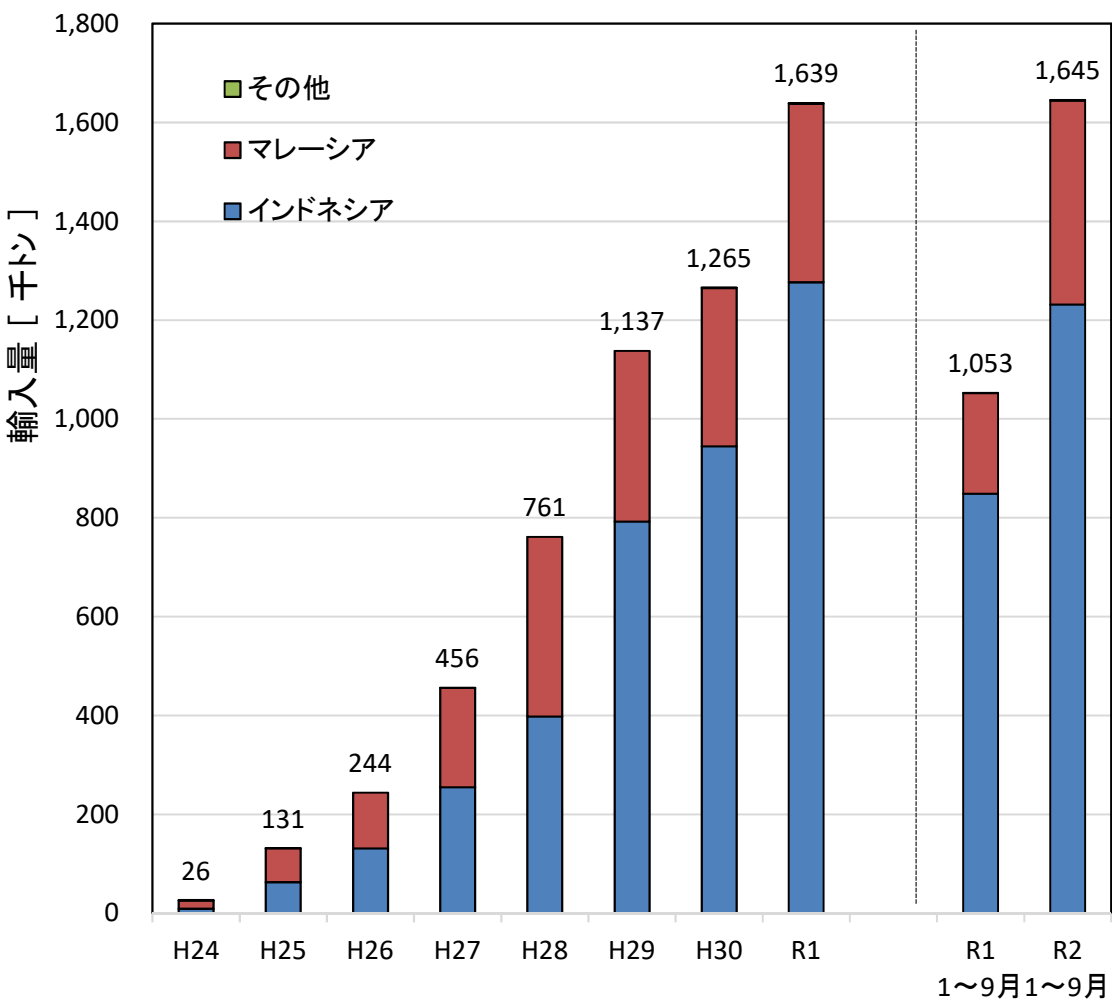


出典: 財務省「貿易統計」より、左図「品別国別表」、右図「統計品別国別税関別一覧表」

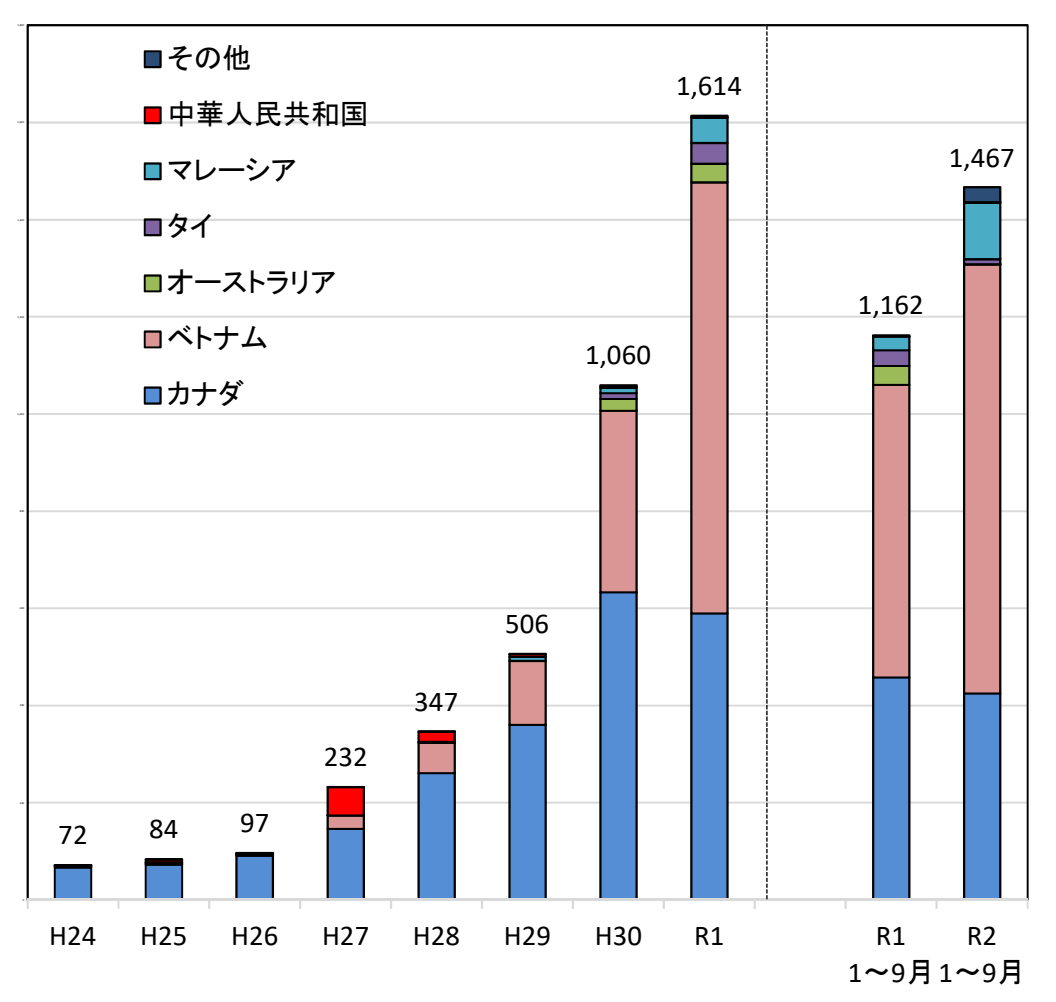
# PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKS輸入量は年々増加しており、R2年1～9月を昨年同期と比較すると+56%となっている。
- 主な輸入相手国はインドネシア(75%)、マレーシア(25%)となっている。
- 木質ペレット輸入量は年々増加しており、R2年1～9月を昨年同期と比較すると+26%となっている。
- 主な輸入相手国はベトナム(60%)、カナダ(29%)となっている。

## PKS



## 木質ペレット



出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」